

令和 5 年度
札幌市の環境政策推進に関する調査
報 告 書

令和 6 年 10 月
札 幌 市



目 次

I. 調査概要

1. 調査の目的	1
2. 調査の概要	1
3. 配布数及び回答者数	1

II. 調査結果

1. 回答者の属性	2
2. 回答内容	7

テーマ 1

地球温暖化と気候変動に関する認識

問 1 「地球温暖化による気候変動」に対する認識	7
問 2 地球温暖化の進行に対する自身の習慣の意識	8
問 3 新型コロナウイルス感染症流行前と比較した生活の変化	9
問 4 熱中症対策として望む支援策	13

テーマ 2

省エネルギー対策や再生可能エネルギーの利用について

問 5 電化製品の使用期間	14
問 6 照明設備の LED 化の割合	17
問 7 家庭のエネルギー・燃料の種類	18

問 8 室効果ガス排出量の少ない燃料への 転換についての意向	21
問 9 電力会社や料金メニューの変更の有無	22
問 10 電力会社や料金メニューを変更していない理由	23
問 11 電力会社や料金メニュー選択時の 再生可能エネルギーの意識	24
問 12 再生可能エネルギー由来の電力の導入の意向	25
問 13 再生可能エネルギー由来の電力の導入に際し 希望する支援策	26
問 14 電気自動車を導入する際の障壁	27
問 15 水素エネルギーに対するイメージ	28

テーマ 3

環境政策全般や SDGs に関する認識

問 16 SDGs についての認知度	29
問 17 SDGs を知った手段	30
問 18 「持続可能な都市」の実現のために 実践している取組	31
問 19 「フェアトレード」商品の購入の有無	32
問 20 自身の生活におけるエコライフの意識	33

I. 調査概要

1. 調査の目的

札幌市における気候変動対策等の環境政策推進にかかる施策立案の検討や、既存世策の進捗・課題の把握を行うため、調査を実施。

2. 調査の概要

(1) 調査期間	令和6年1月9日(火)※発送～令和6年1月31日(水)※投函期限
(2) 調査方法	郵送によるアンケート調査
(3) 調査対象者	無作為に抽出した18歳から79歳までの札幌市民

3. 配布数及び回答数

配布数：3,000 通 / 回答数：1,098 通（回答率：36.6%）

Ⅱ. 調査結果

1. 回答者の属性

(1) 性別

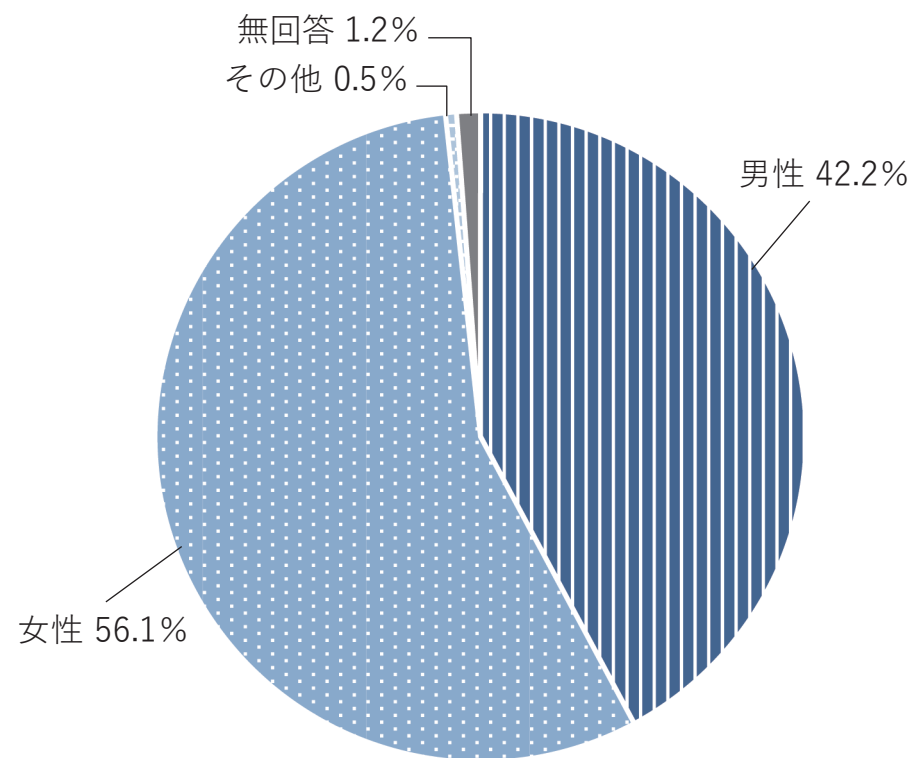


図 1-1 性別 (N=1,098)

(2) 年代

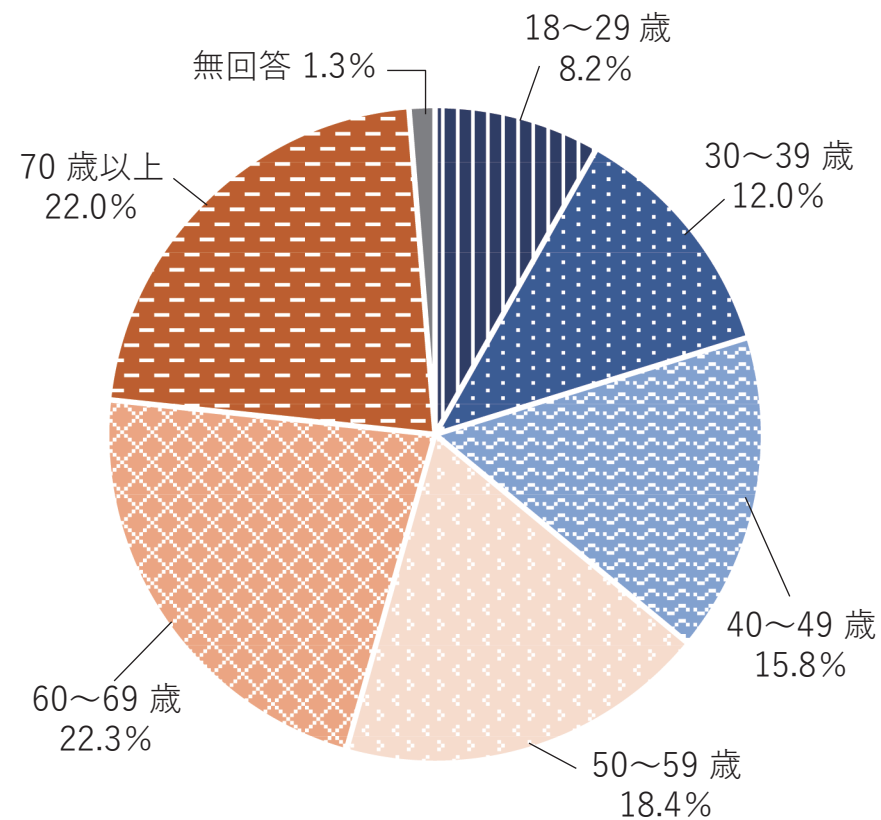


図 1-2 年代 (N=1,098)

(3) 居住地

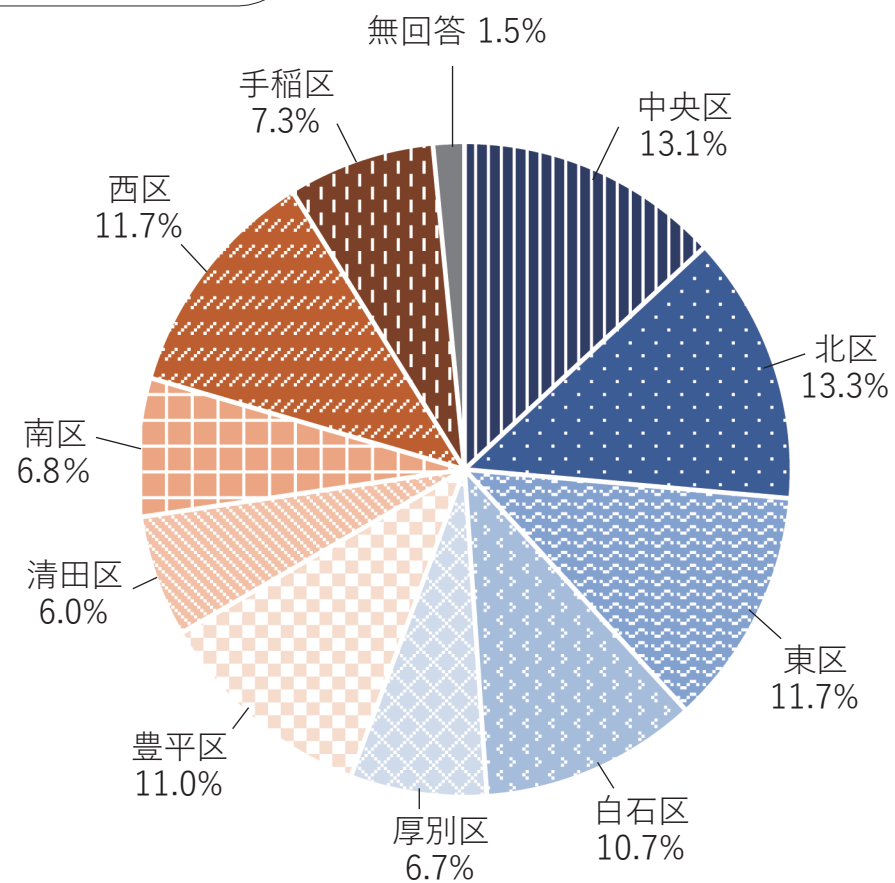


図 1-3 居住地 (N=1,098)

(4) 出身地

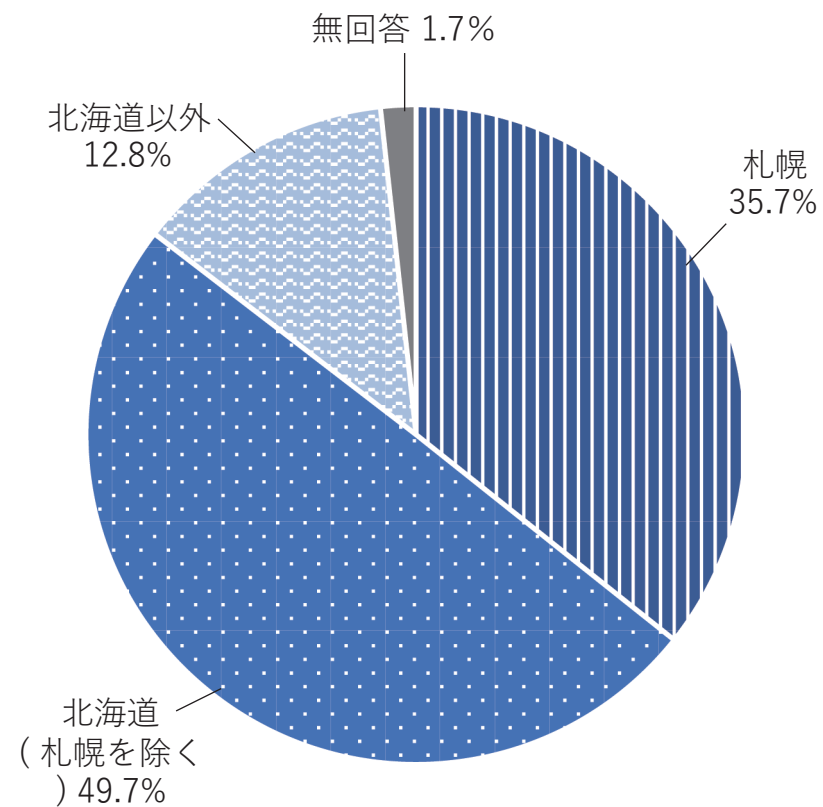


図 1-4 出身地 (N=1,098)

(5) 職業

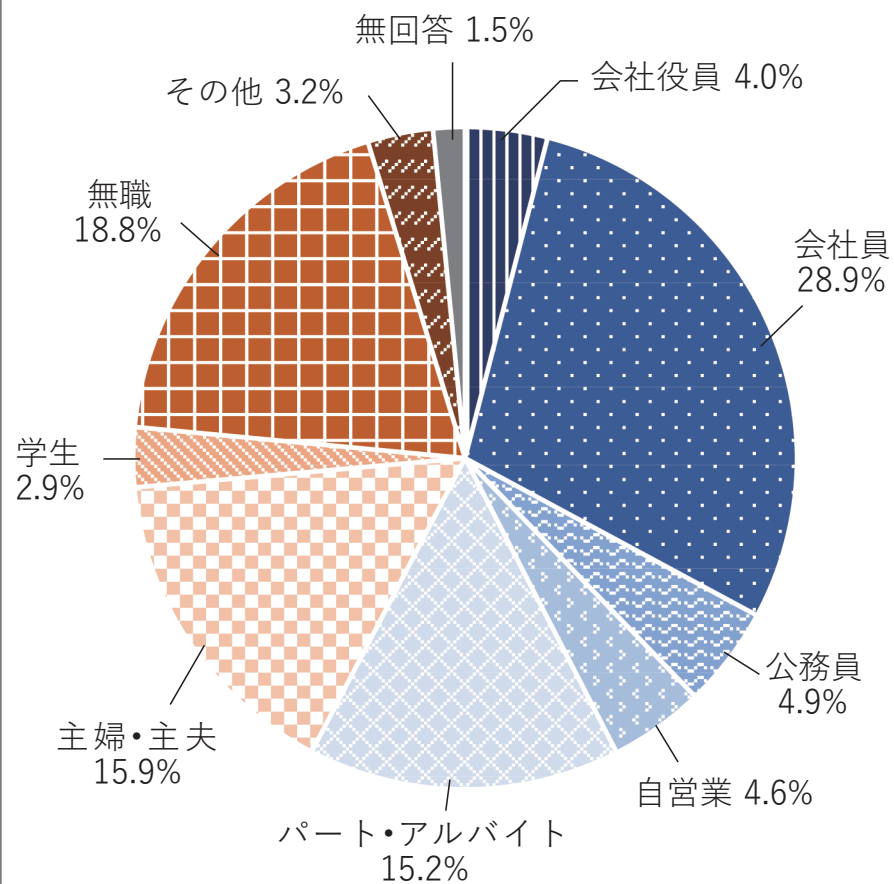


図 1-5 職業 (N=1,098)

(6) 同居家族

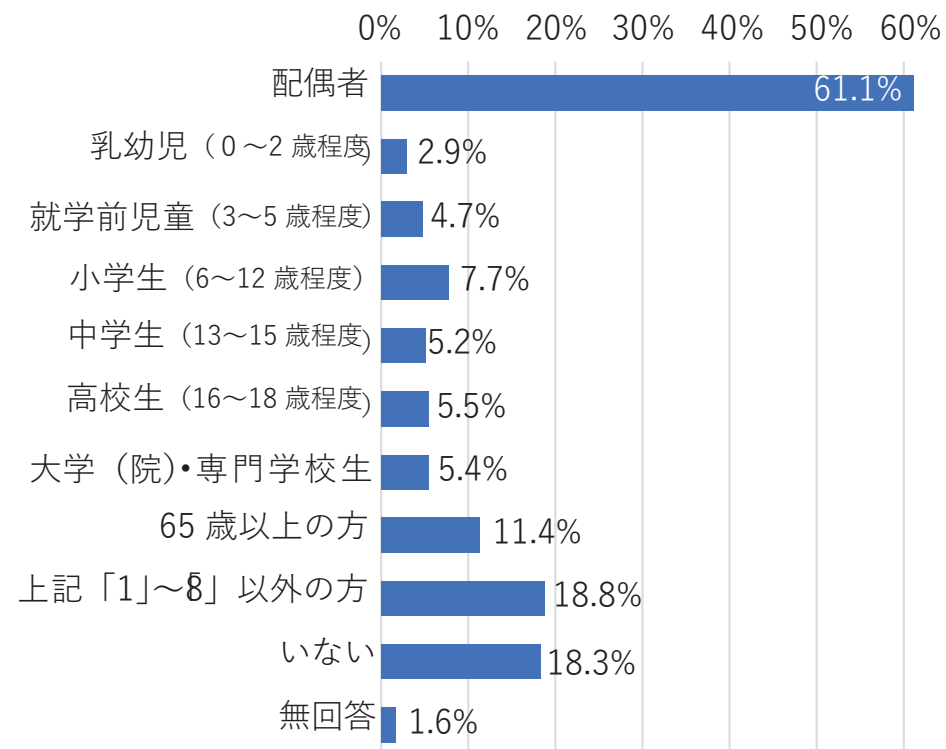


図 1-6 同居家族 (N=1,098)

(7) 同居人数

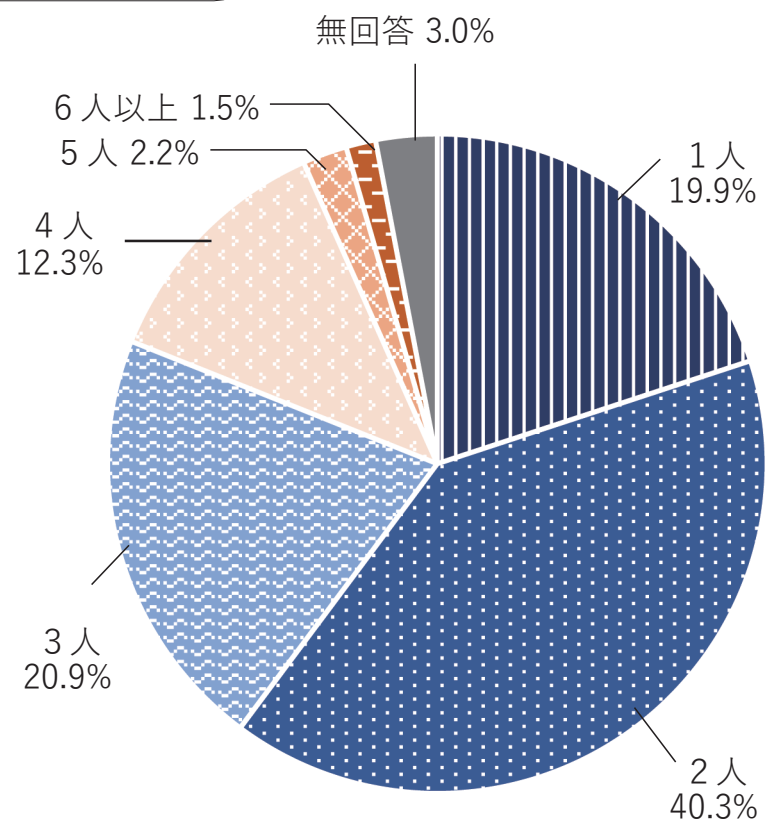


図 1-7 同居人数 (N=1,098)

(8) 住居形態

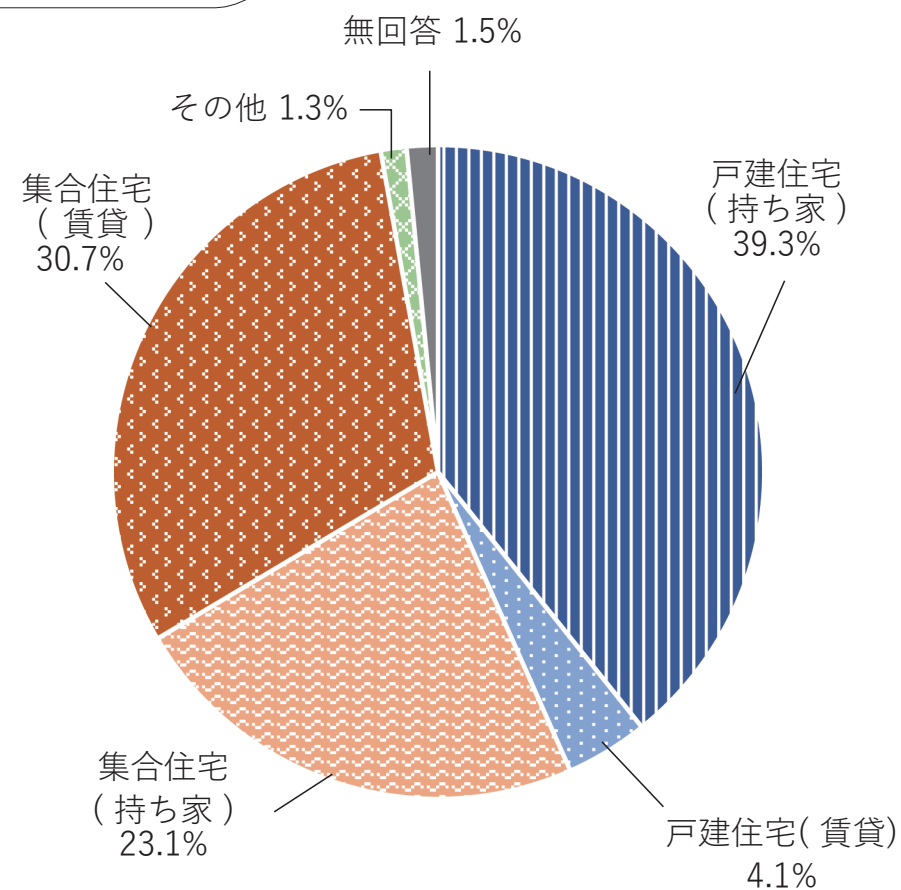


図 1-8 住居形態 (N=1,098)

(9) 住居の建築時期

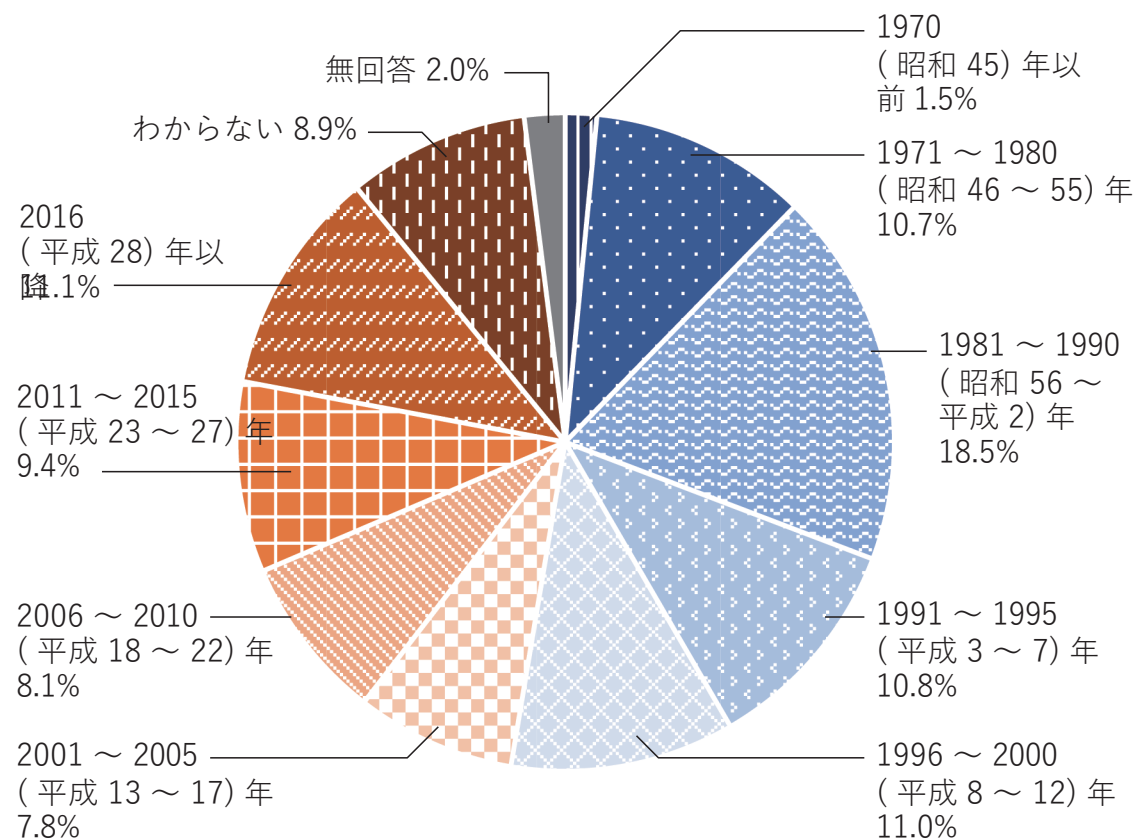


図 1-9 住居の建築時期 (N=1,098)

(10) 世帯年収

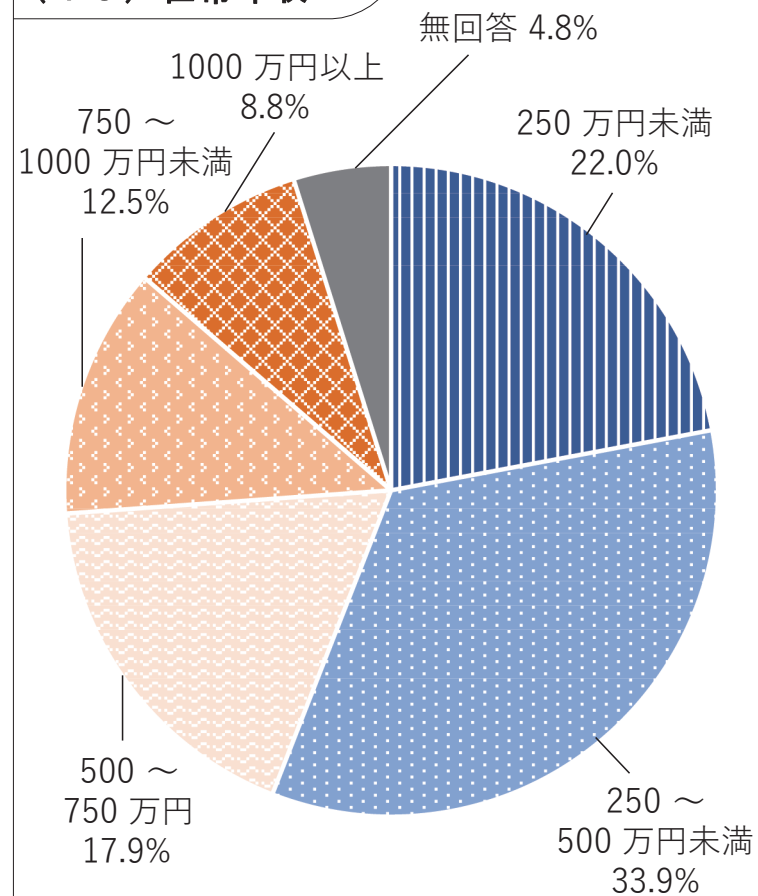


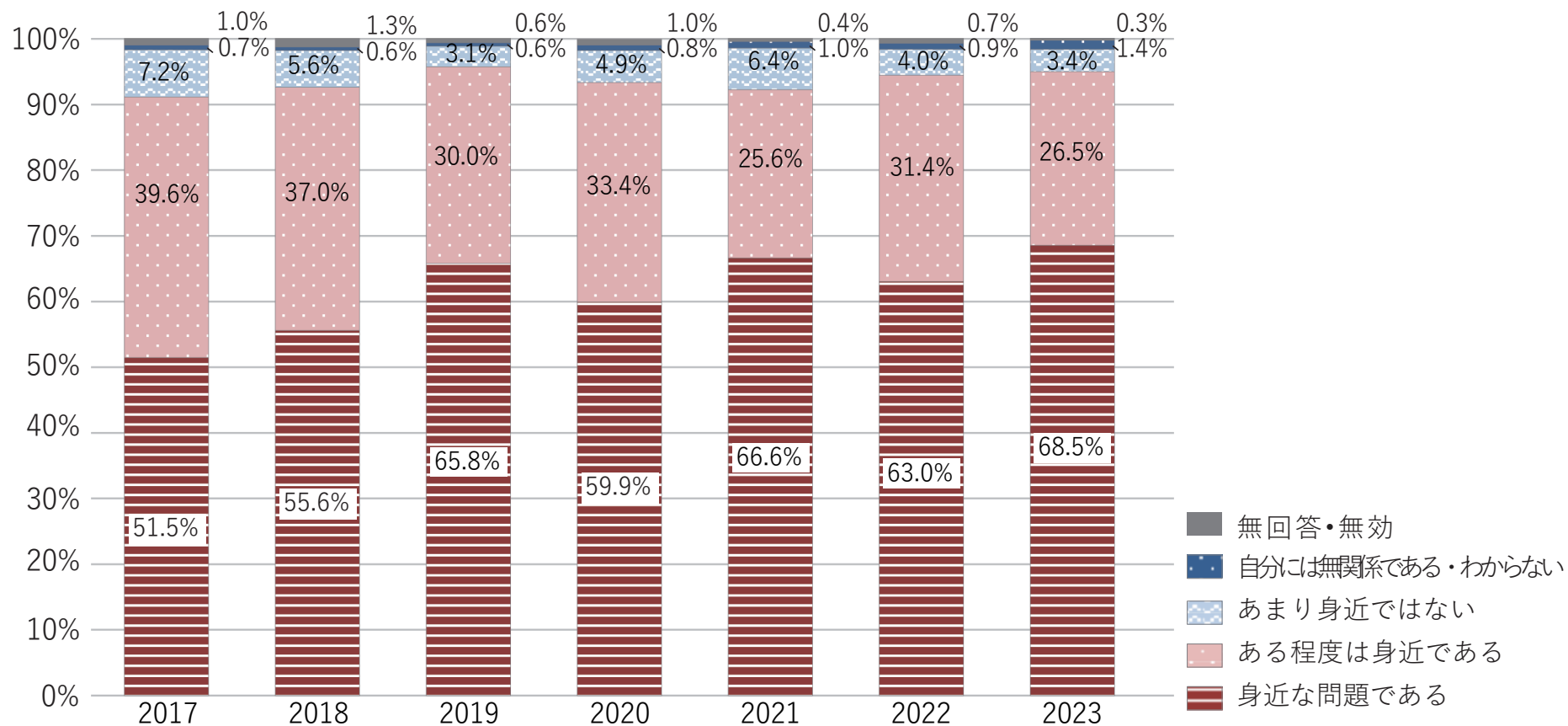
図 1-10 世帯年収 (N=1,098)

2. 回答内容【テーマ1 地球温暖化と気候変動に関する認識について】

◆「地球温暖化による気候変動」に対する認識

問1

あなたは、「地球温暖化による気候変動」を身近な問題だと思っていますか。
最もあてはまるものに1つだけ○をつけてください。

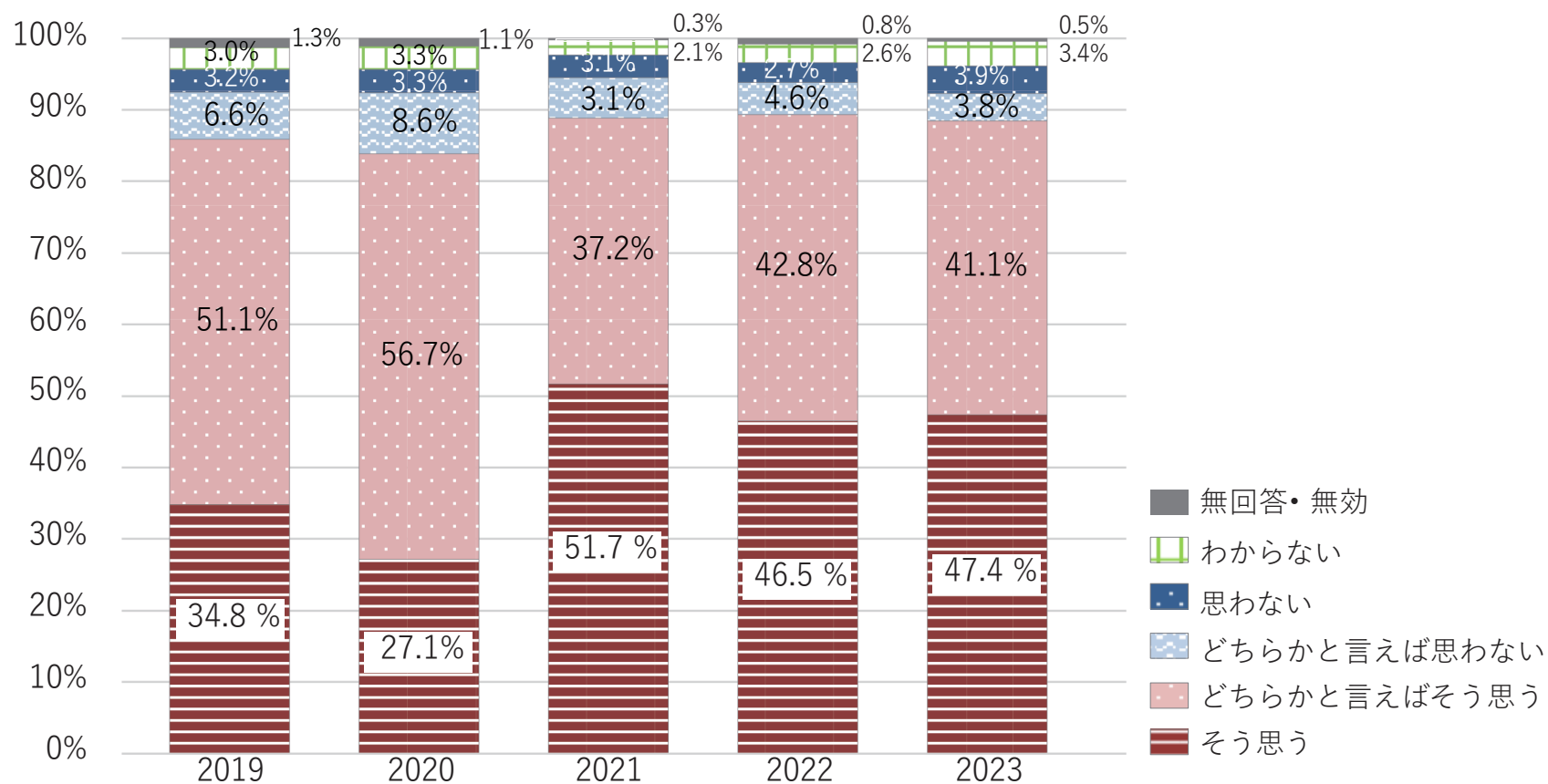


「身近な問題である」が 68.5%と最も多く、増加傾向にある

◆地球温暖化の進行に対する自身の習慣の意識

問 2

あなたは、地球温暖化や気候変動の進行を食い止めるために、自身の暮らしや習慣を変えていかなければならないと思いますか。最もあてはまるものに1つだけ○をつけてください。



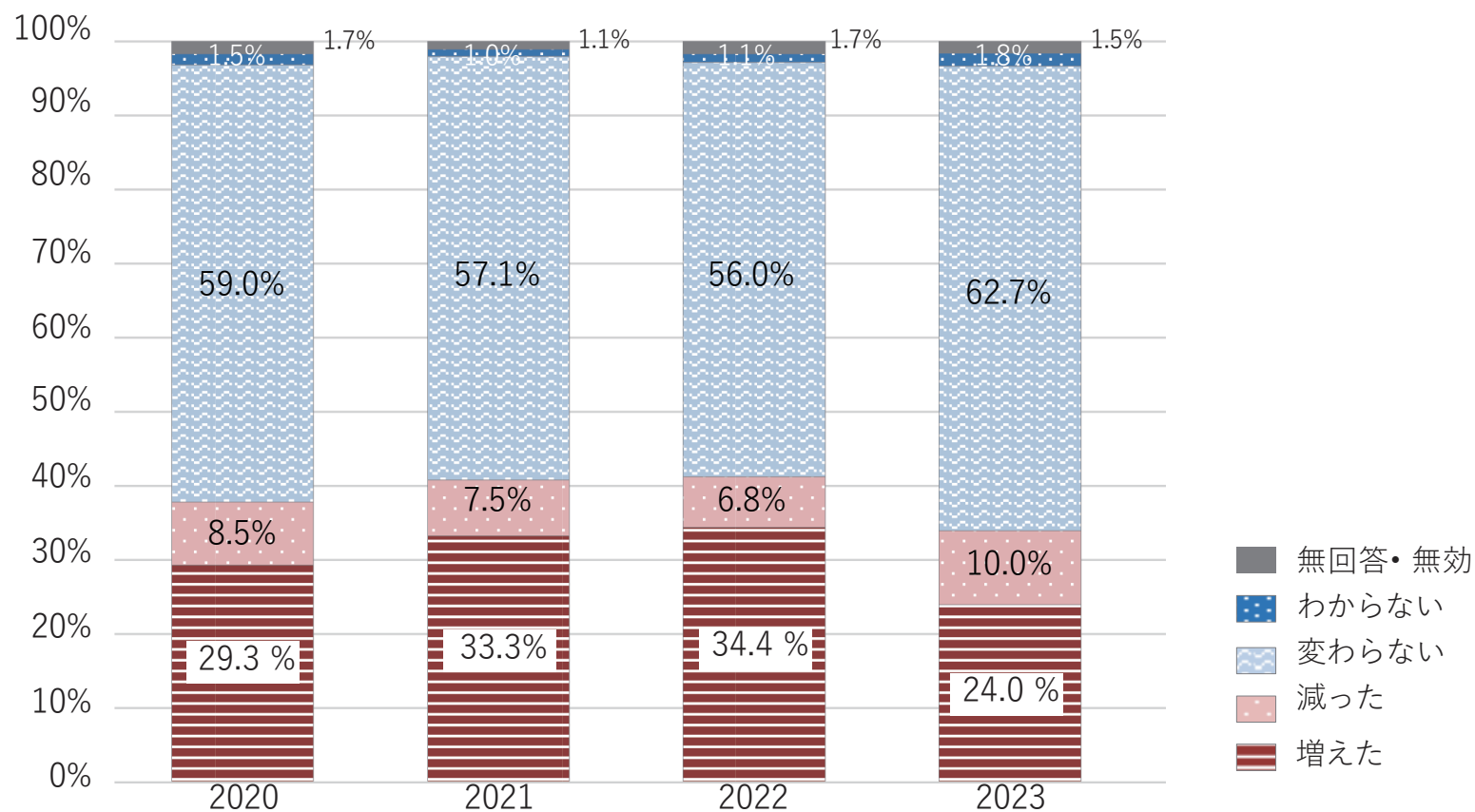
「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」を合わせた割合は 88.5%と、前年調査から横ばいとなっている。

◆新型コロナウイルス感染症流行前と比較した生活の変化

問 3

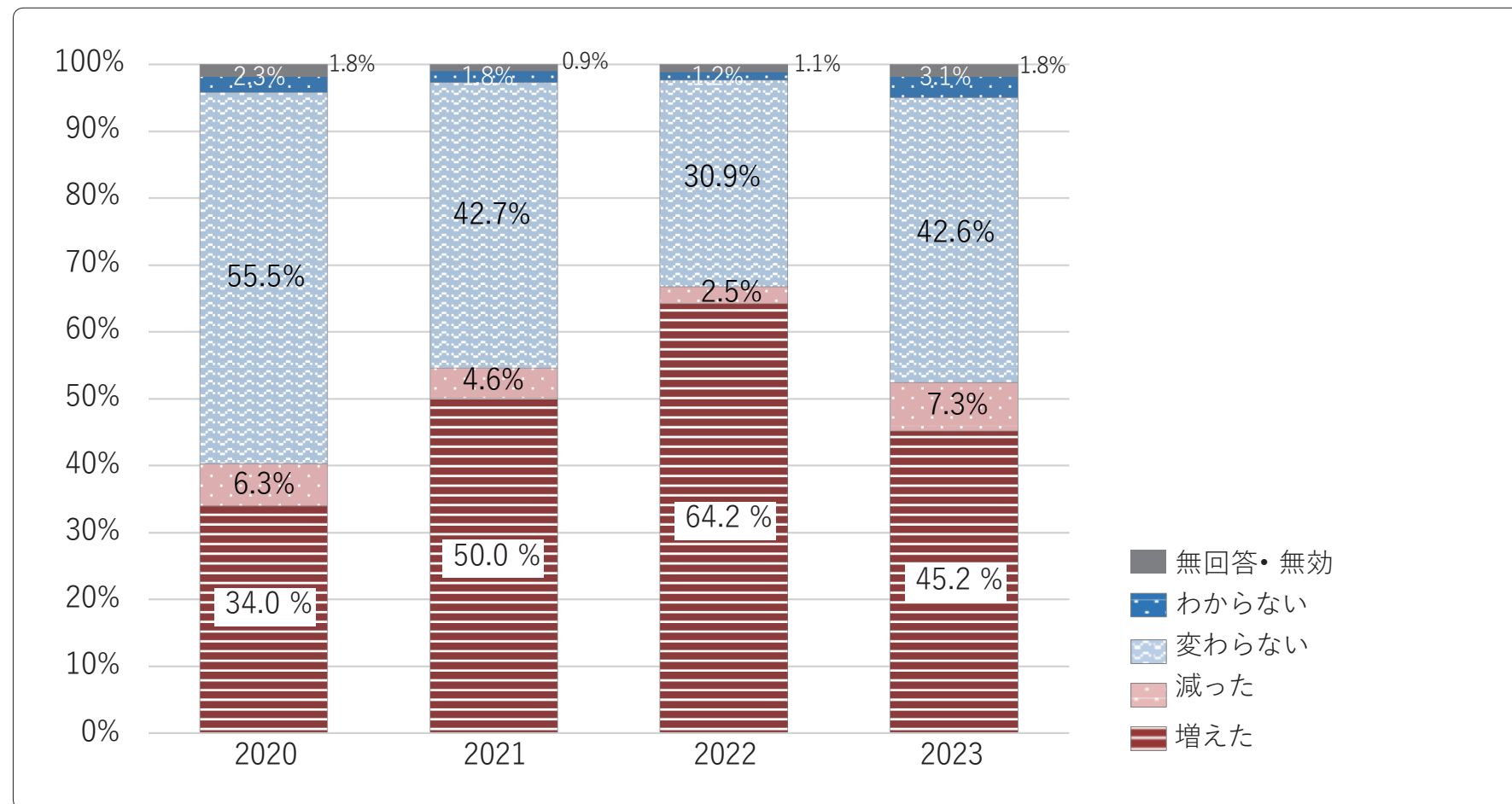
新型コロナウイルス感染症による生活様式の変化が地球温暖化・環境問題に与える影響などについてお聞きします。下表のアからエまでの各項目について、あなたが新型コロナウイルス感染症流行前の生活と比べ、現在の生活であてはまると思うものに1つだけ○をつけてください。

《ア ゴミの量》



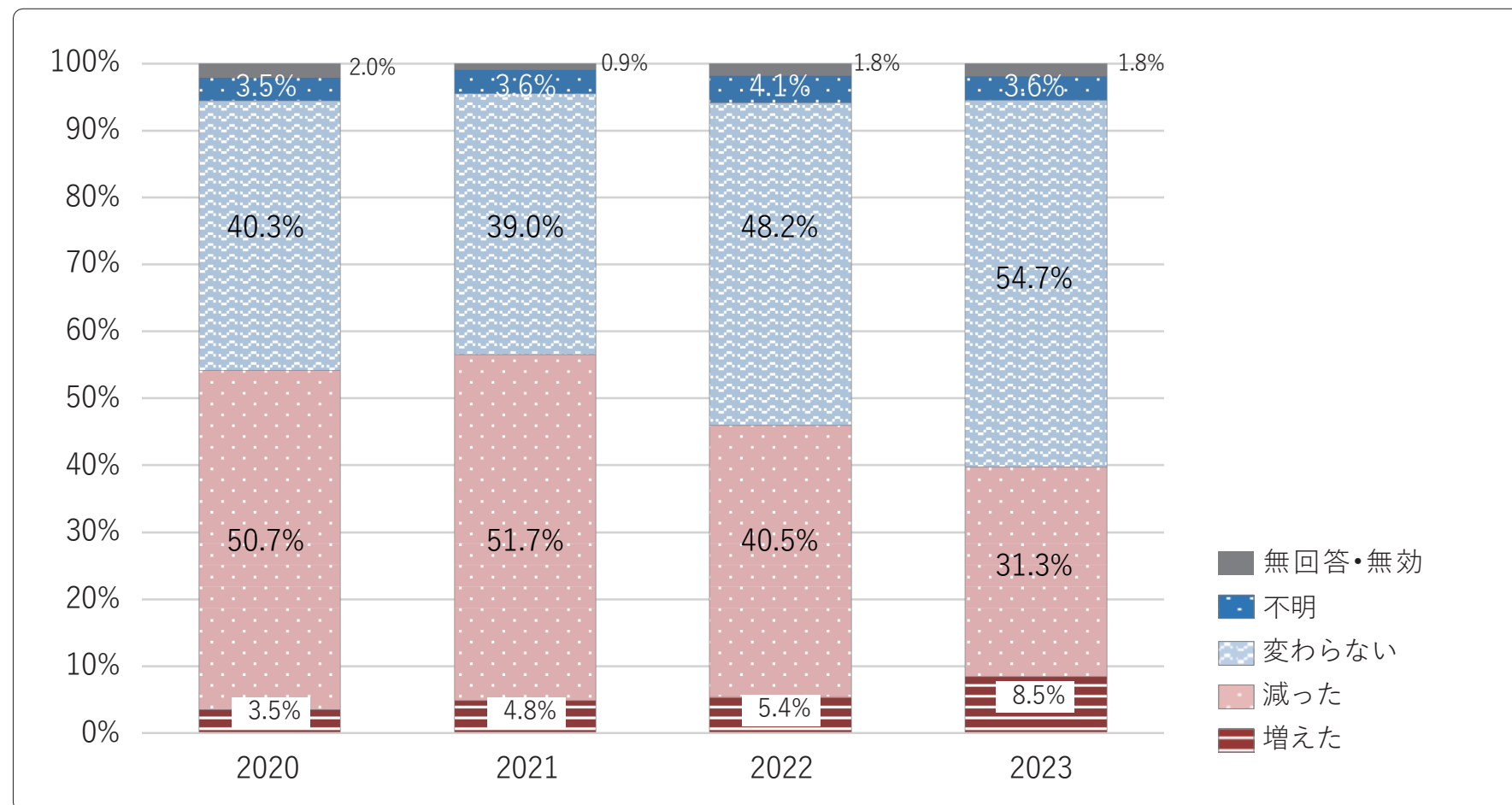
ゴミの量が「増えた」家庭は 24.0%と、前年調査と比べて減少となっている。

《イ 光熱費》



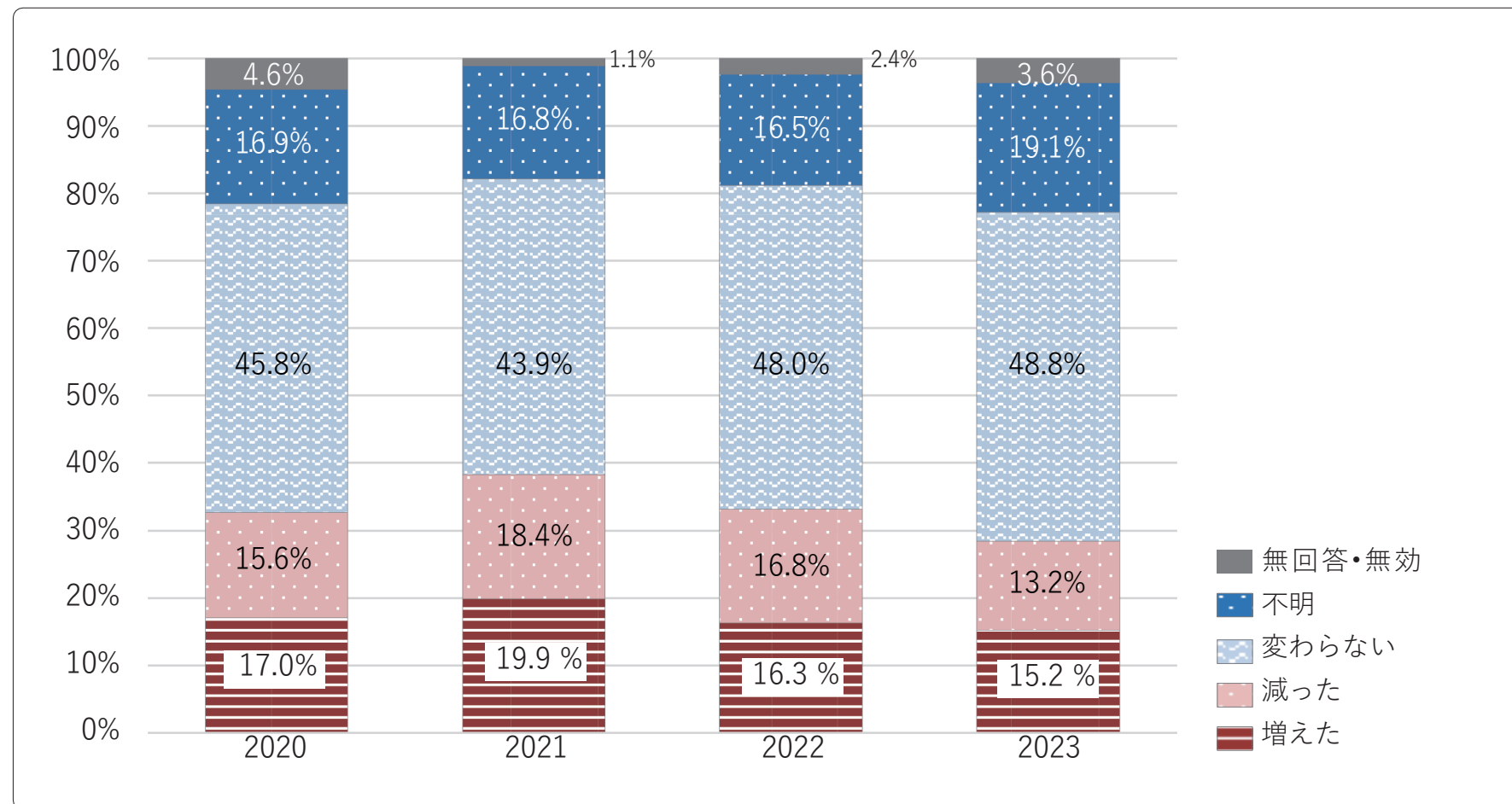
光熱費が「増えた」家庭は 45.2%と、前年調査に比べ減少している。

《ウ 公共交通の利用頻度》



公共交通の利用が「減った」方が 31.3%と前年調査に比べ減少している。

《エ 自家用車の利用頻度》



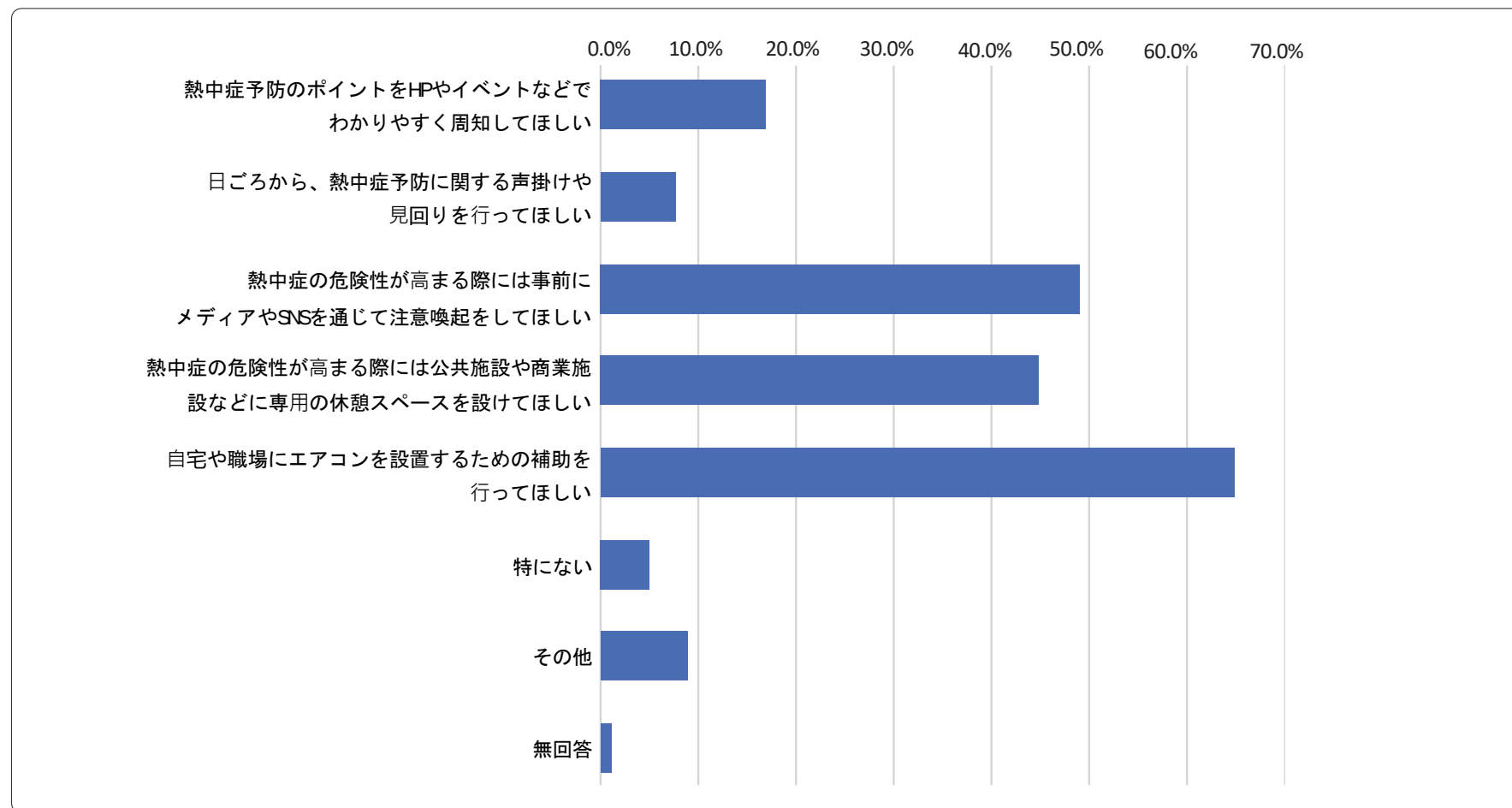
自家用車の利用頻度は、「変わらない」が 48.8% で最も多い。

◆熱中症対策として望む支援策

問 4

2023年の夏は、8月の月平均気温が過去最高となり、初めて熱中症警戒アラートが発表されるなど、札幌市でも記録的な猛暑となりましたが、あなたが熱中症対策として今後望む支援策等がありますか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。



「自宅や職場にエアコンを設置するための補助を行ってほしい」と答えた方が 64.8%と最も多い。

【テーマ2 省エネルギー対策や再生可能エネルギーの利用について】

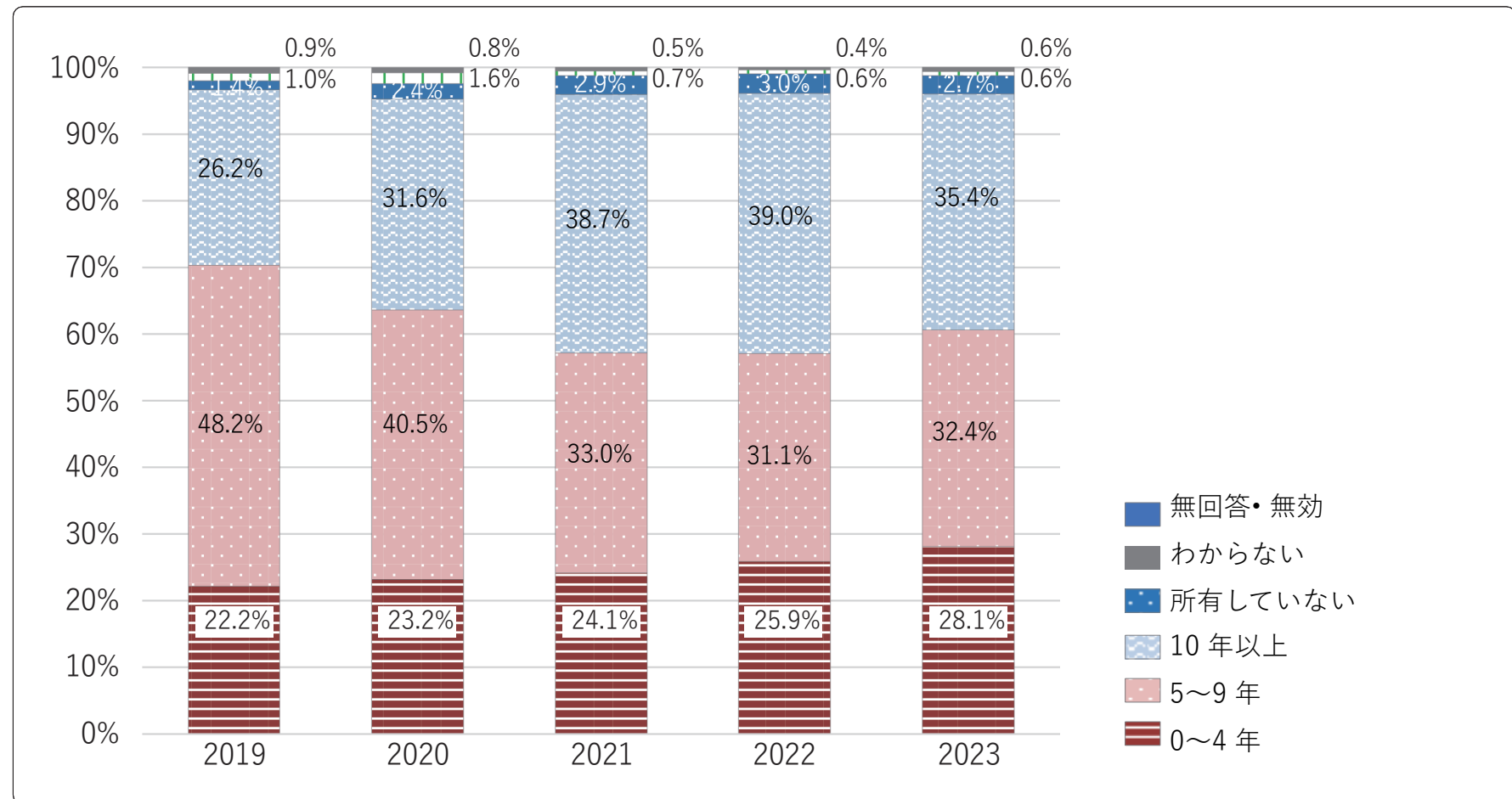
◆電化製品の使用期間

問 5

あなたのご家庭にある電化製品は、何年くらい使用していますか。

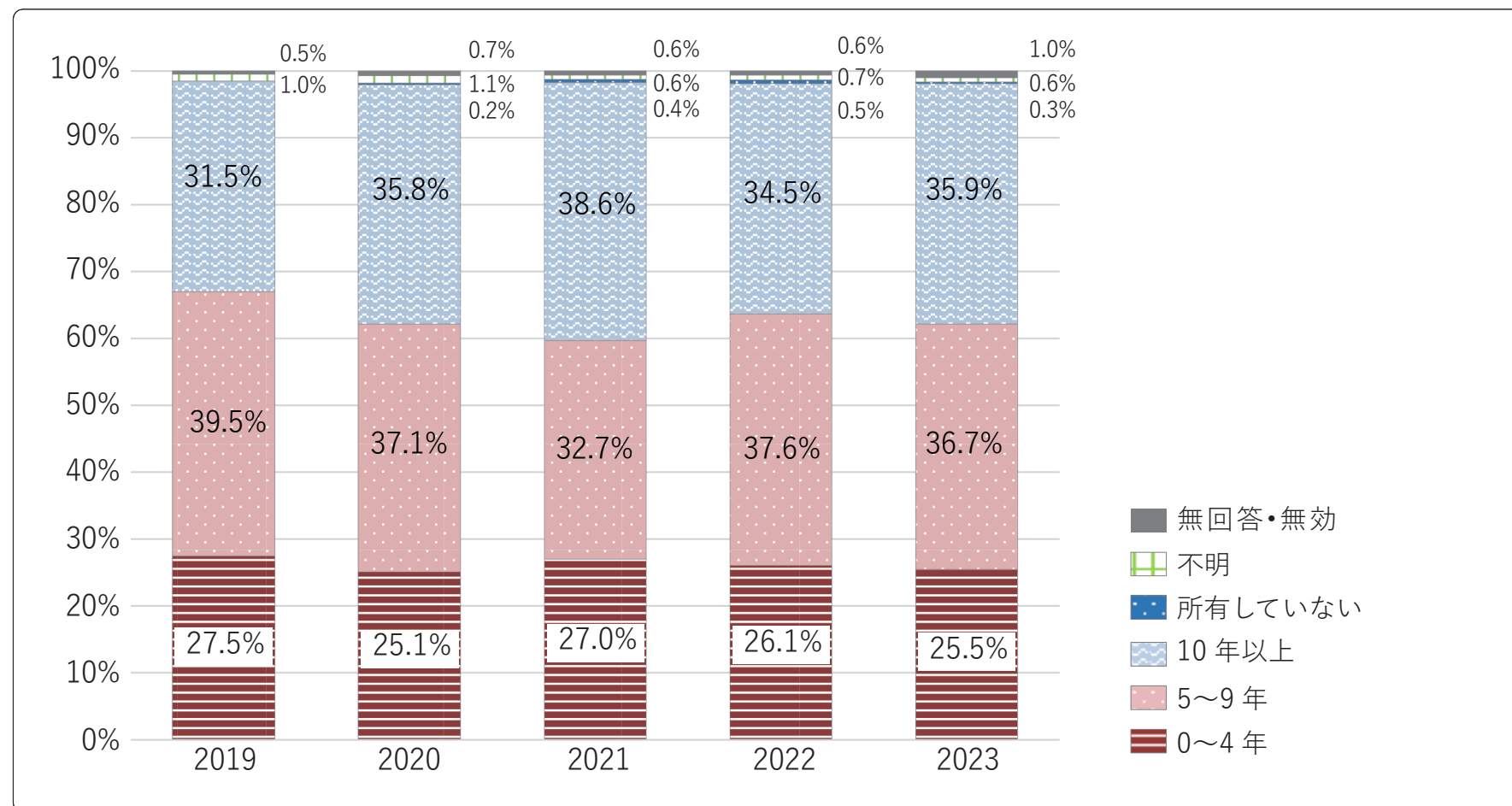
下表のアからウまでの各項目について、それぞれあてはまるものに1つだけ○をつけてください

《ア 主に使用しているテレビ》



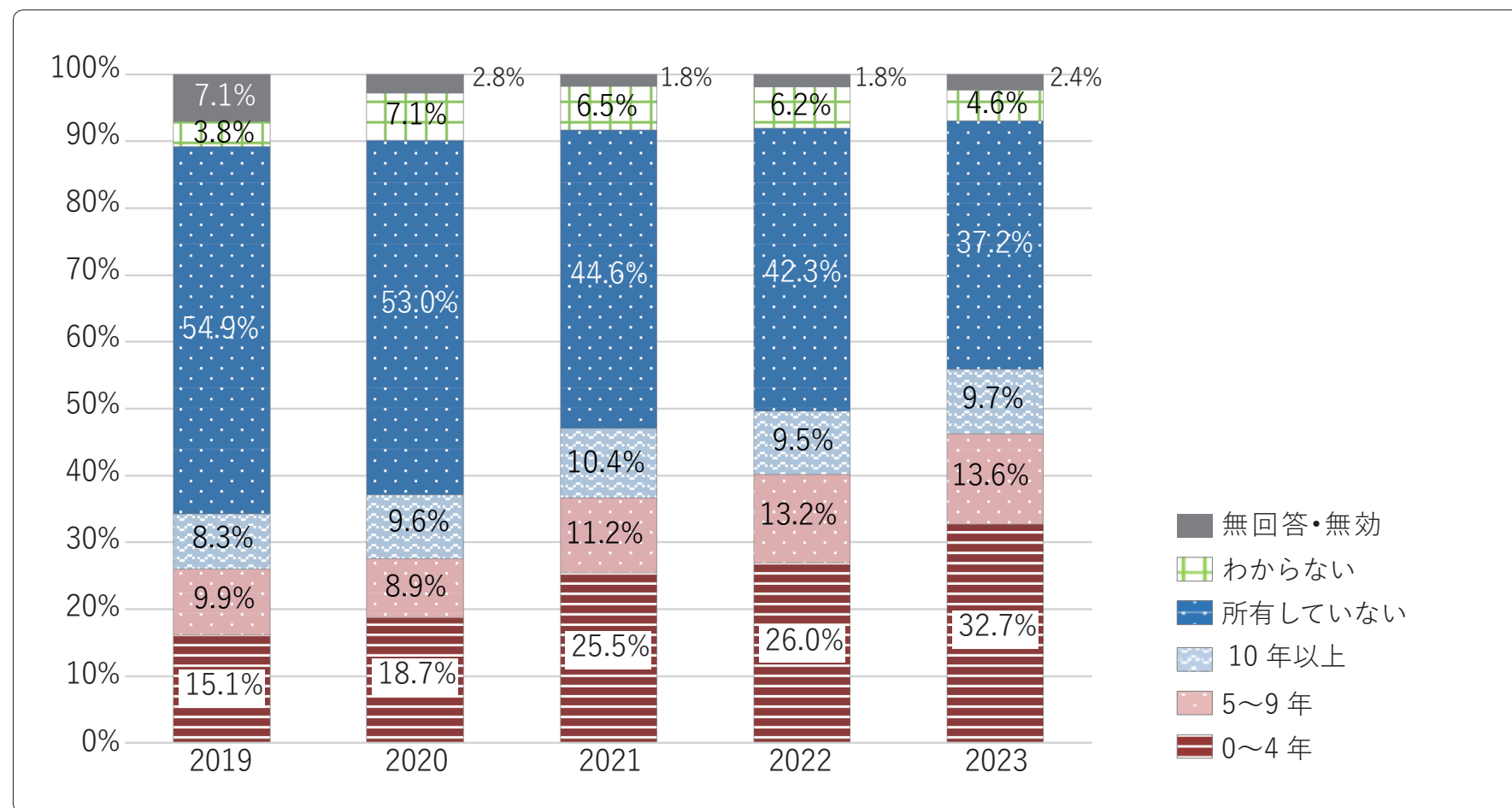
主に使用しているテレビの使用年数は、「10年以上」が 35.4%と最も多い。

《イ 主に使用している冷蔵庫》



主に使用している冷蔵庫の使用年数は、「5～9 年」が 36.7%と最も多い。

《ウ 主に使用しているエアコン》

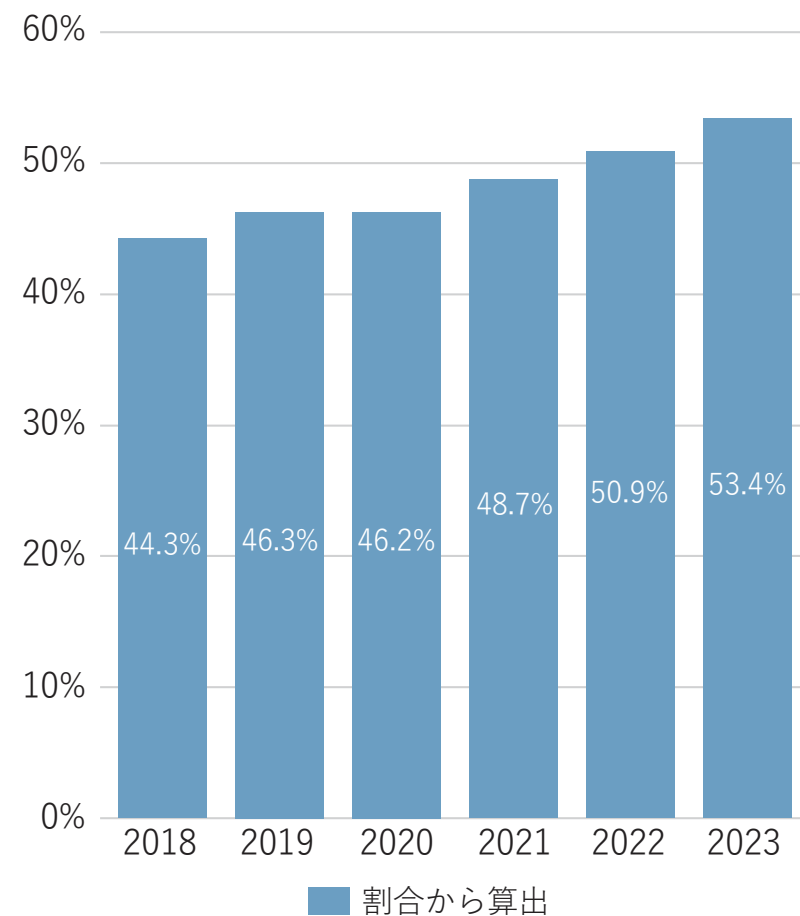
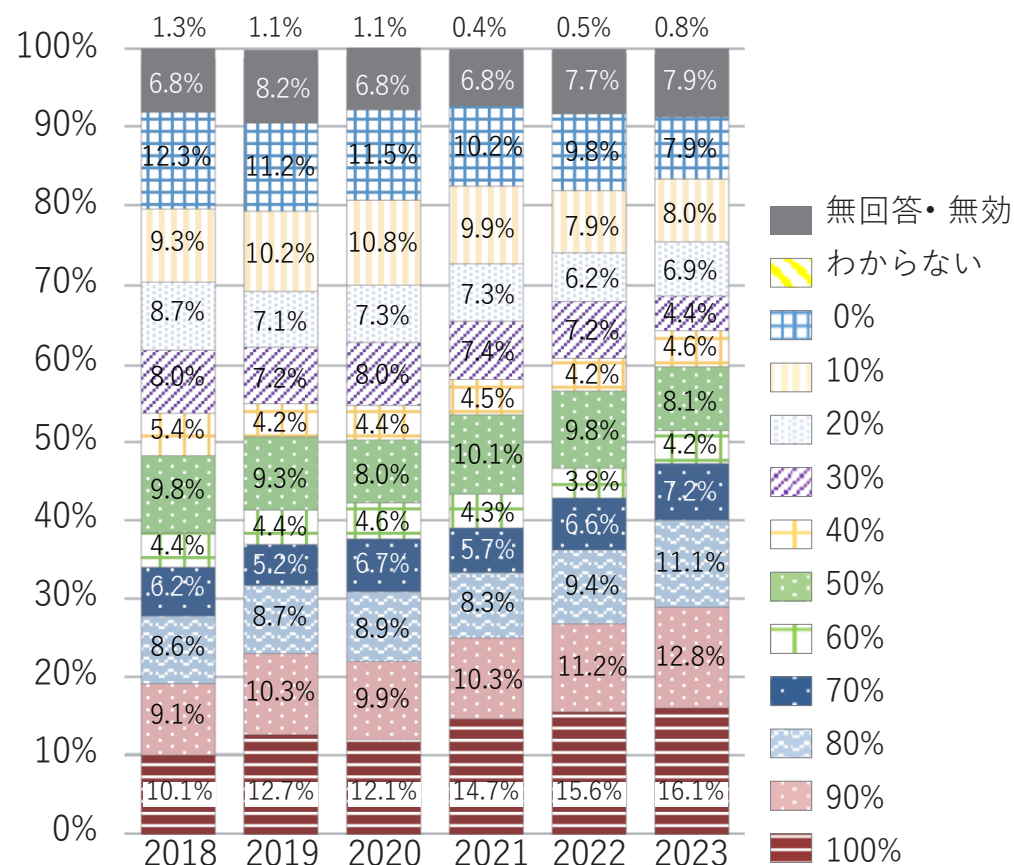


主に使用しているエアコンの使用年数は、「0～4年」が 32.7%と最も多く、
また、「所有していない」の割合が減少傾向にある。

◆照明設備のLED化の割合

問 6

あなたのご家庭の居室や台所、トイレ、お風呂場などの照明は、どの程度LED化されていますか。
最も近いものに1つだけ○をつけてください。



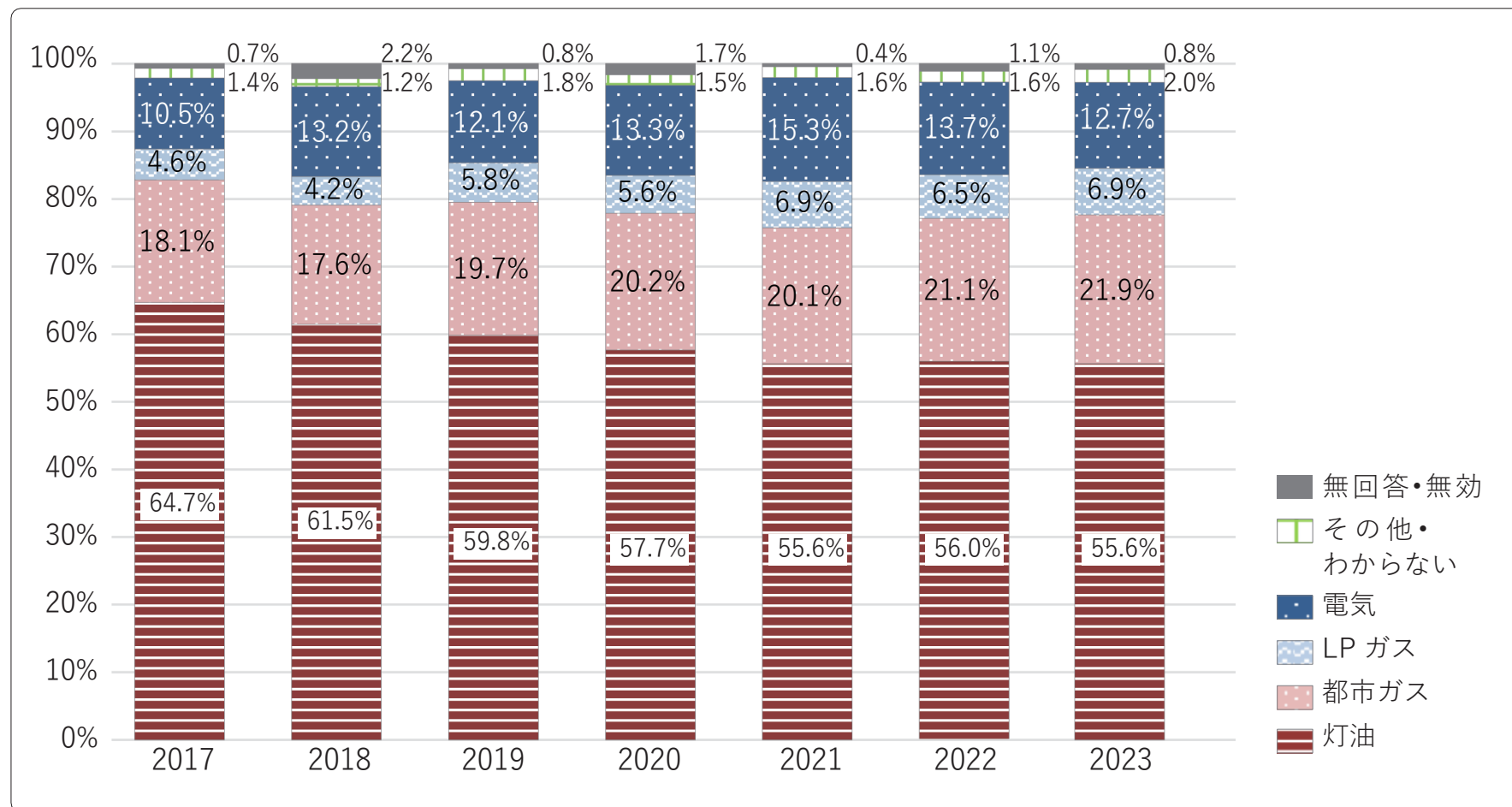
LED化している割合は、徐々に増加傾向となっている。

◆照明設備のLED 化の割合

問 7

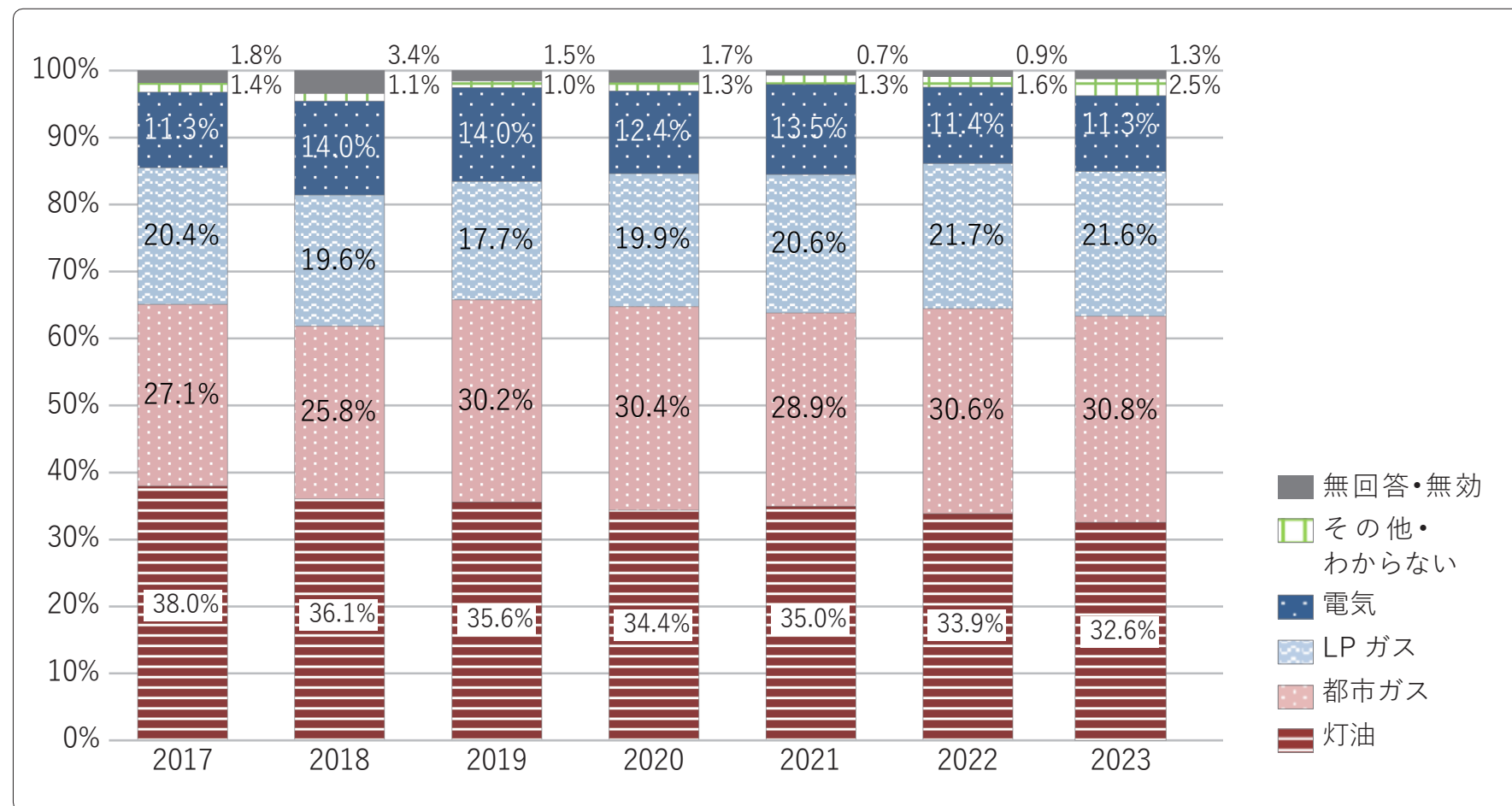
あなたのご家庭では、用途ごとにどのようなエネルギー・燃料を最も多く使っていますか。
下表のアからウまでの各用途について、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

《ア 暖房》



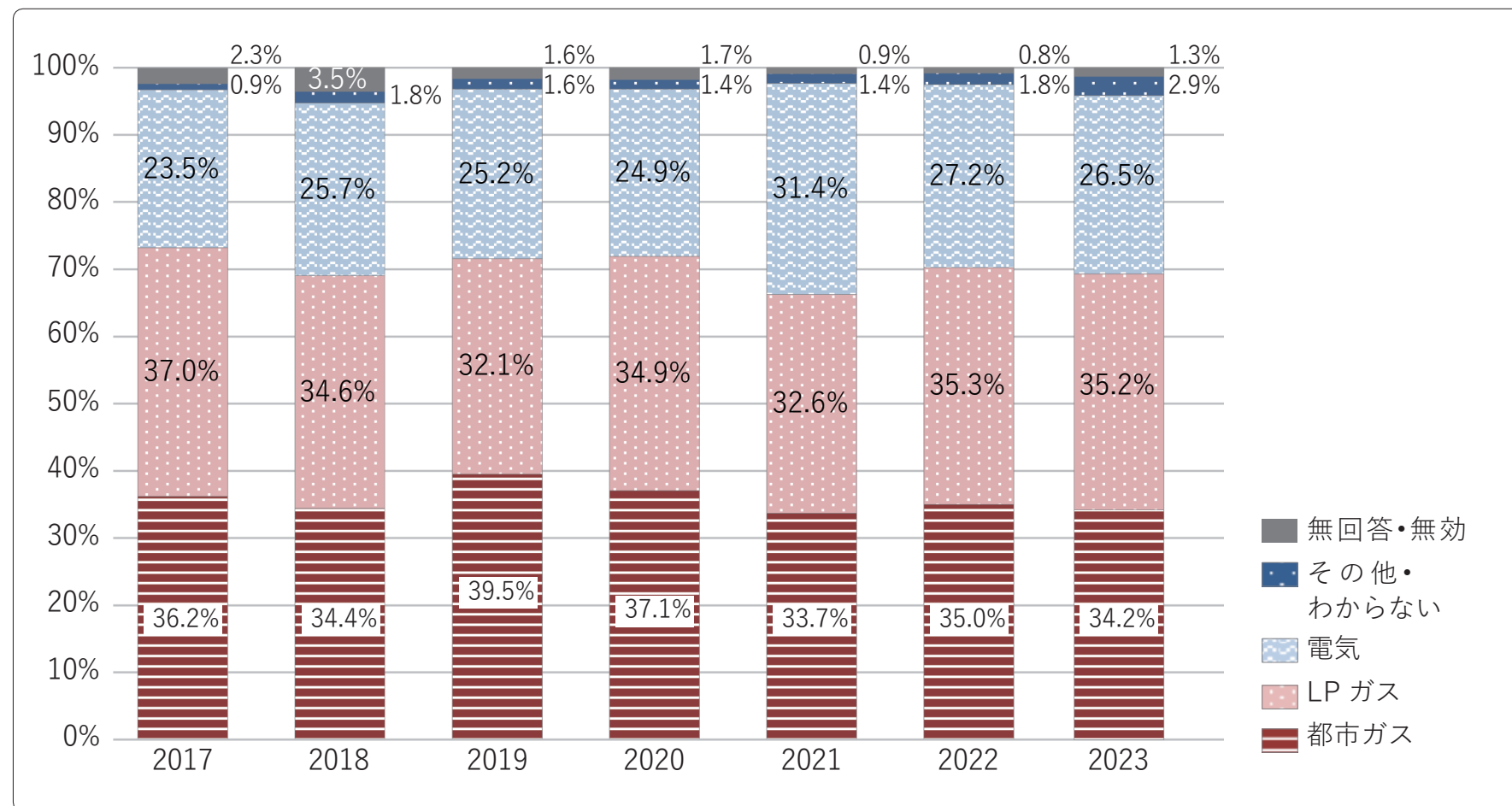
「灯油」は徐々に減少傾向となっているものの、最も多く 55.6%となっている。

《イ 給湯》



「灯油」は徐々に減少傾向となっているものの、最も多く 32.6%となっている。

《ウ 調理用コンロ》

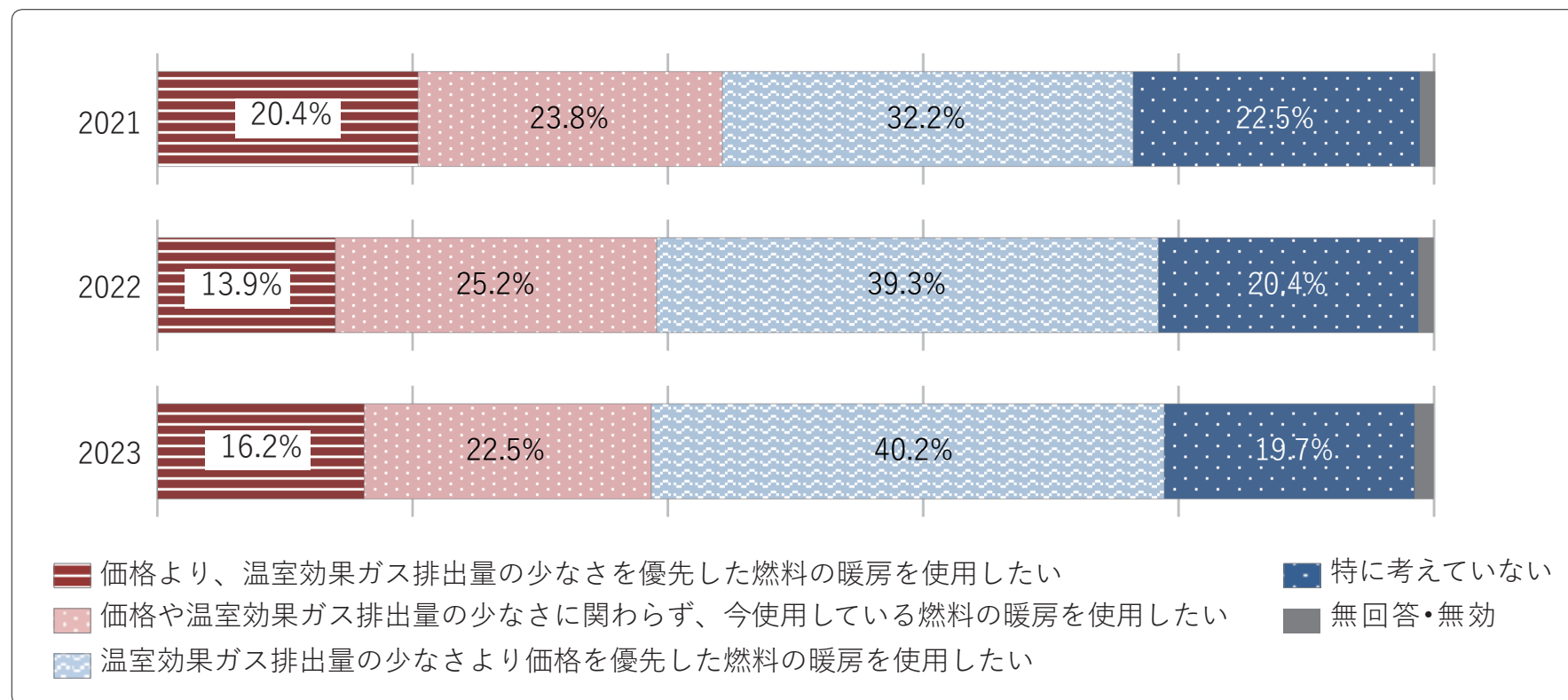


全てのエネルギー・燃料がほぼ横ばいとなっている。

◆温室効果ガス排出量の少ない燃料への転換についての意向

問 8

温室効果ガス排出量の少ない燃料への転換について、
あなたの考えに最も近いものに1つだけ○をつけてください。



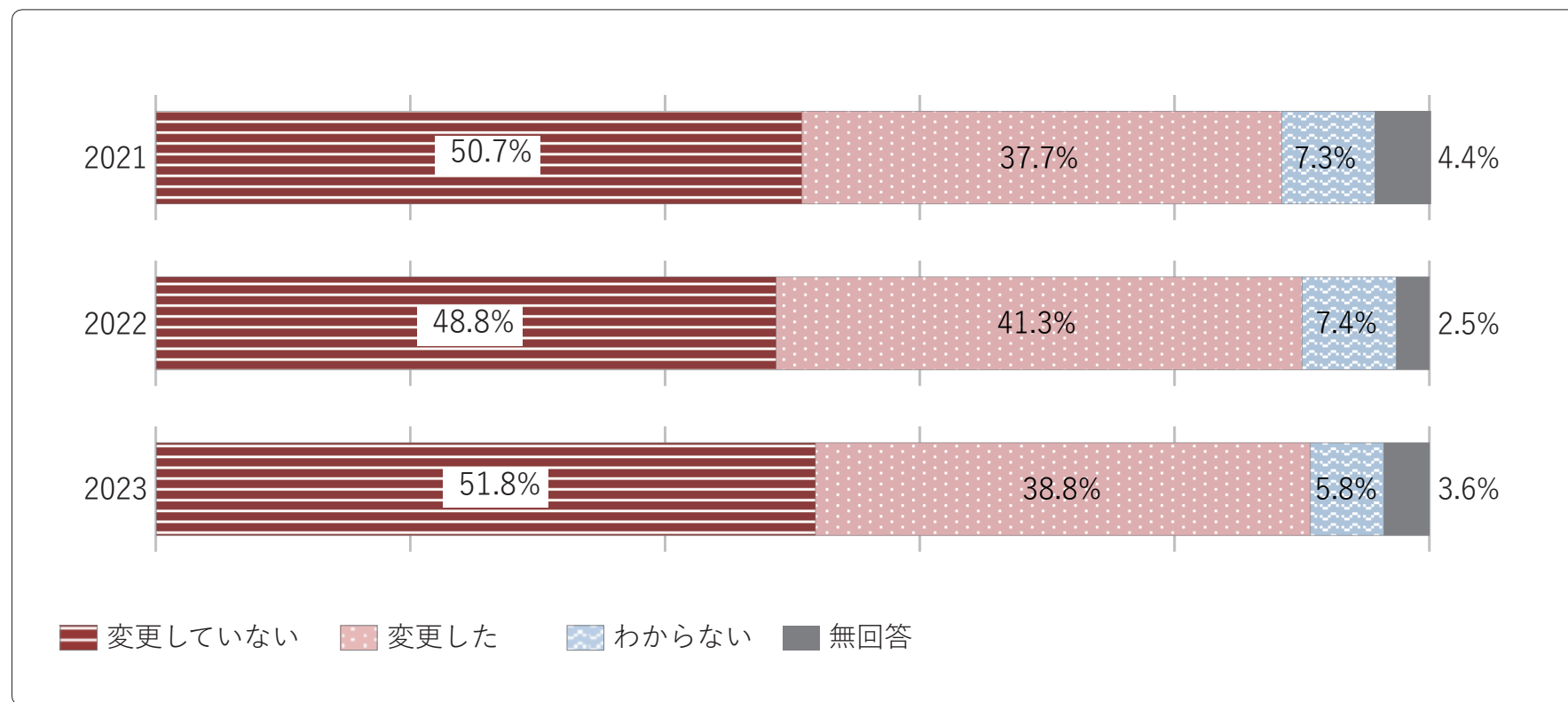
「温室効果ガス排出量の少なさより、価格を優先した燃料の暖房を使用したい」と考えている方が 40.2%と最も多く、
前年と比較し増加している。

また、「価格より、温室効果ガス排出量の少なさを優先した燃料の暖房を使用したい」と考えている方も、
前年と比べ増加している。

◆電力会社や料金メニューの変更の有無

問 9

2016 年から消費者が電力会社や料金メニューを自由に選択できる
いわゆる「電力の小売り自由化」が始まりましたが、あなたのご家庭では「電力の小売り自由化」以後、電力
会社や料金メニューを変更しましたか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

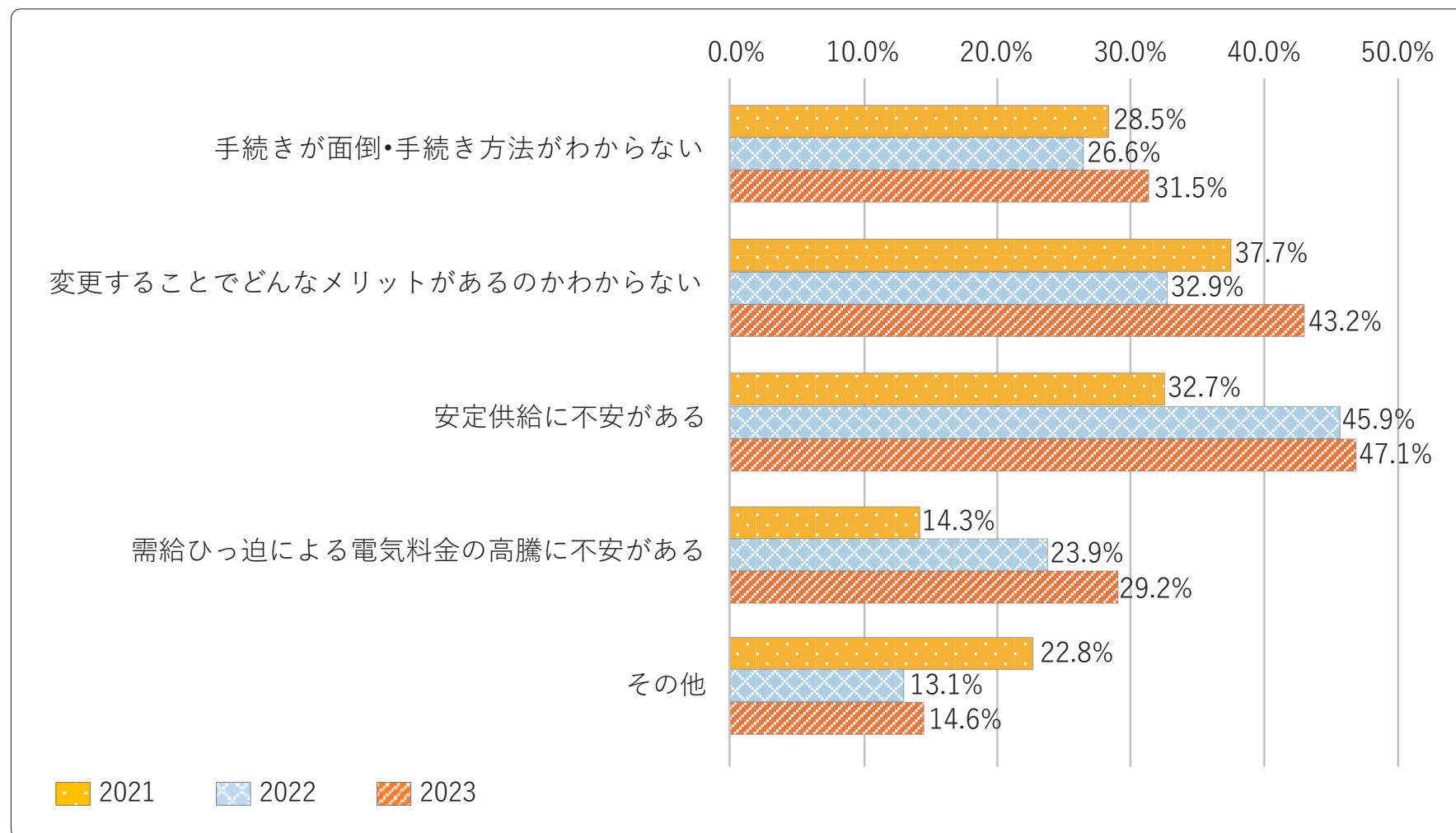


「変更していない」と答えた方が 51.8%と、前年と比較し増加している。
次いで「変更した」が 38.8%となっており、前年と比べ減少している。

◆電力会社や料金メニューを変更していない理由

問9で「1 変更していない」に、○をつけた方にお聞きます》

問 10 変更していない理由についてあてはまるものすべてに○をつけてください。

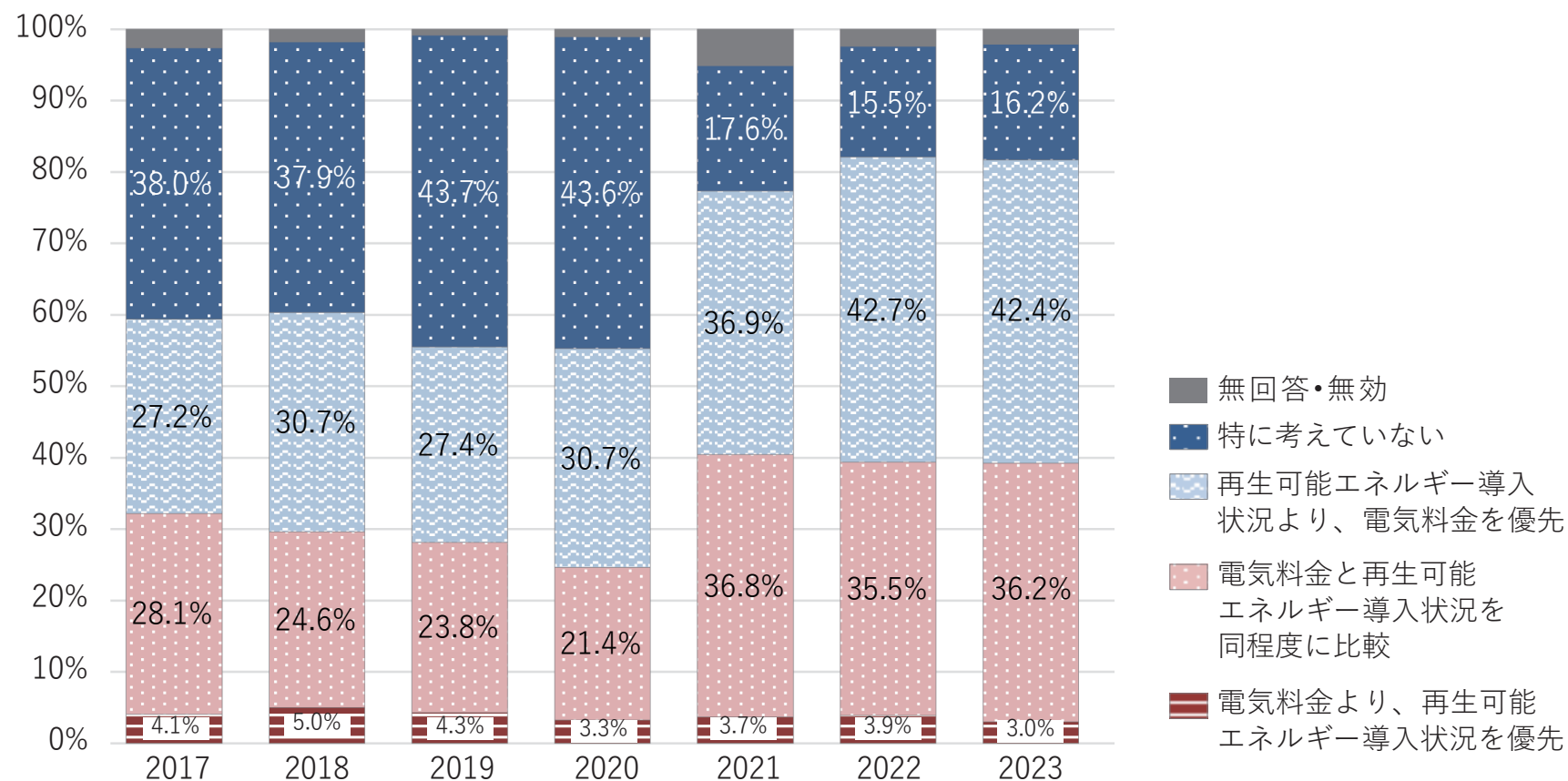


「安定供給に不安がある」と答えた方が 47.1%と最も多い。また、すべての項目で前年調査より回答割合が増加している。

◆電力会社や料金メニュー選択時の再生可能エネルギーの意識

問 11

あなたが電力会社や料金メニューを選ぶとき、再生可能エネルギーの導入状況をどのように考えますか。
あなたの考えに最も近いものに1つだけ○をつけてください。

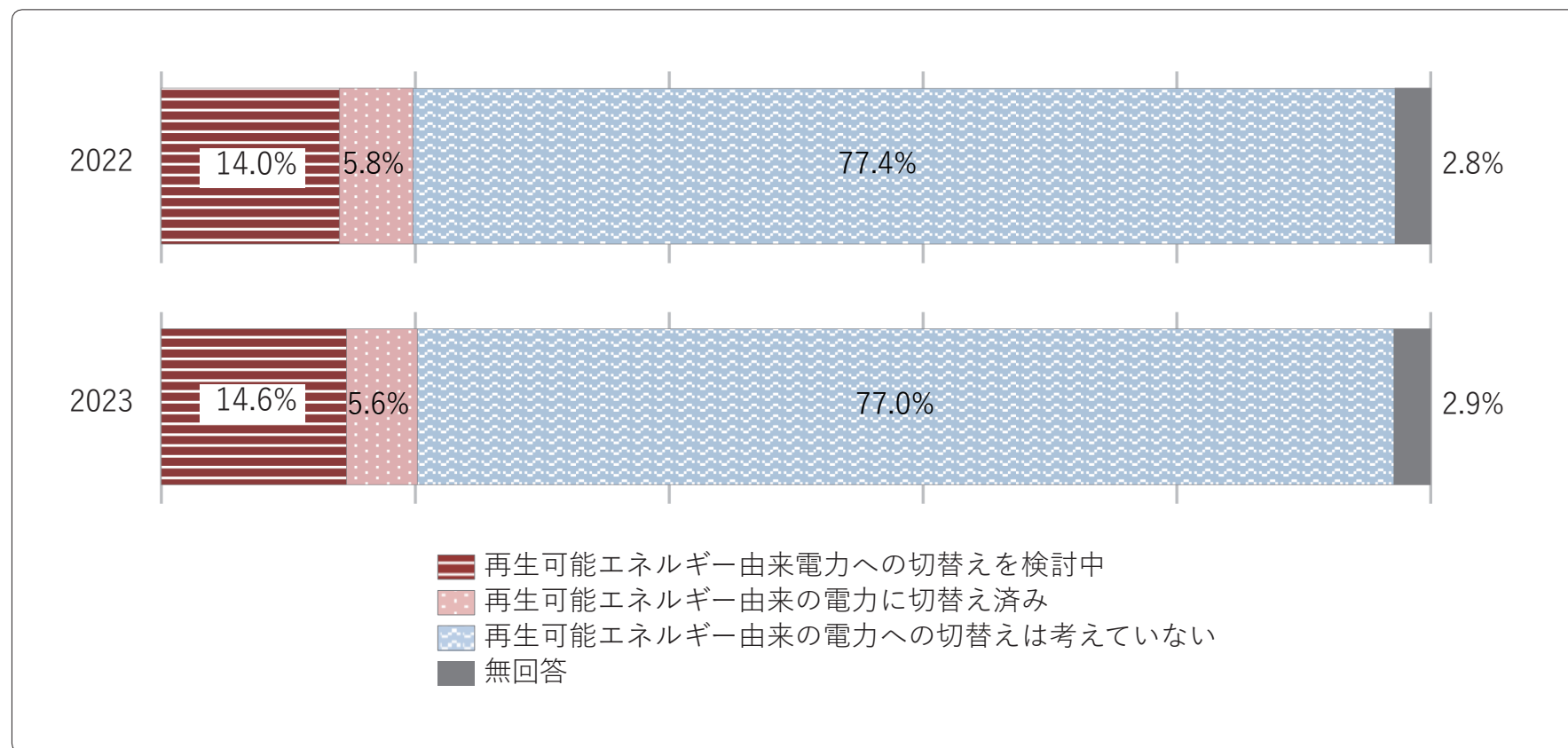


「再生可能エネルギーの導入状況より電気料金を優先して選ぶ」と答えた方が最も多く 42.4%、
次いで「電気料金と再生可能エネルギーの導入状況を同程度に比較して選ぶ」が 36.2%となっている。

◆再生可能エネルギー由来の電力の導入の意向

問 12

あなたのご家庭では再生可能エネルギー由来の電力への切替えを検討していますか。
あてはまるものに1つだけ○をつけてください。



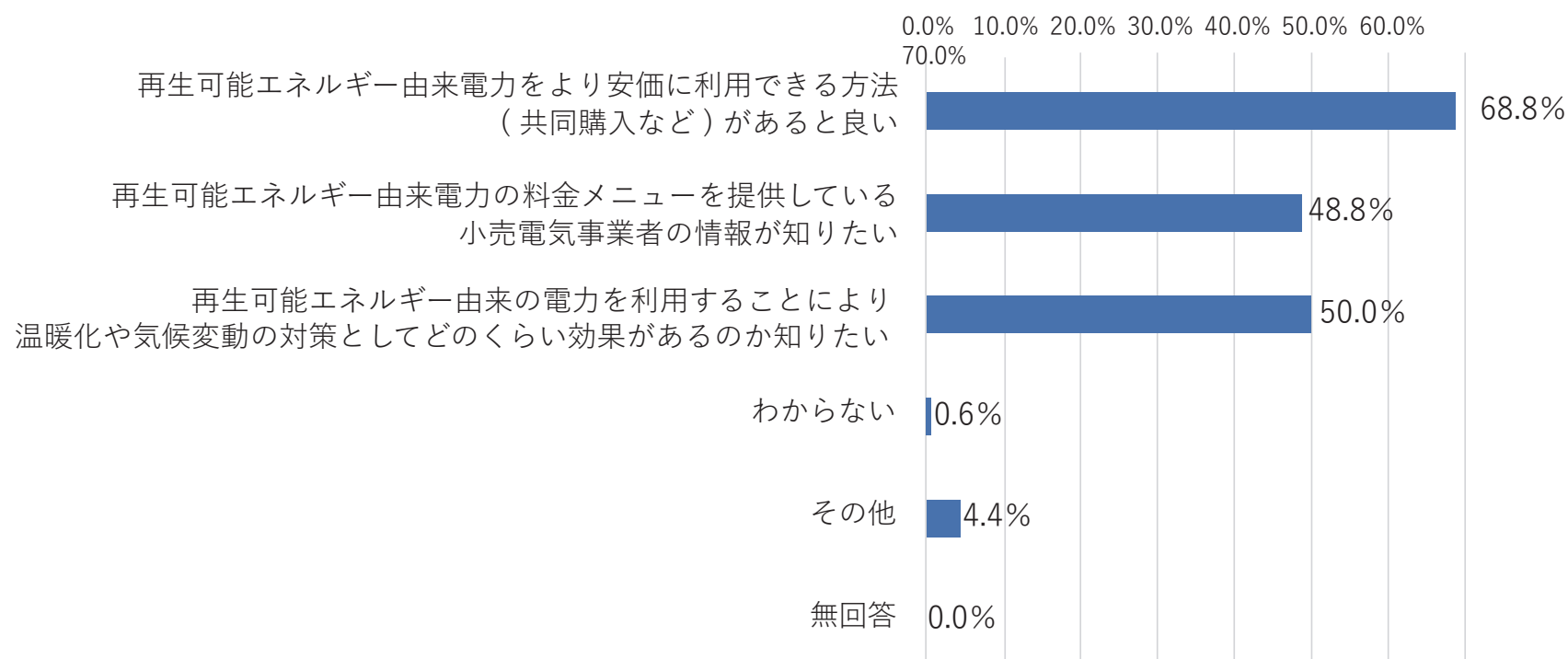
「再生可能エネルギー由来の電力への切替えは考えていない」が 77.0%と最も多く、
前回調査からほぼ横ばいとなっている。

◆再生可能エネルギー由来の電力の導入に際し希望する支援策

《問 12 で「1 再生可能エネルギー由来電力への切替えを検討中」に、○をつけた方にお聞きします》

問 13

札幌市では、再生可能エネルギーの導入拡大に向け、家庭で使用している電力を再生可能エネルギー由来のものへ切り替えることを呼びかけていますが、そのためにあなたが今後望む支援策等がありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

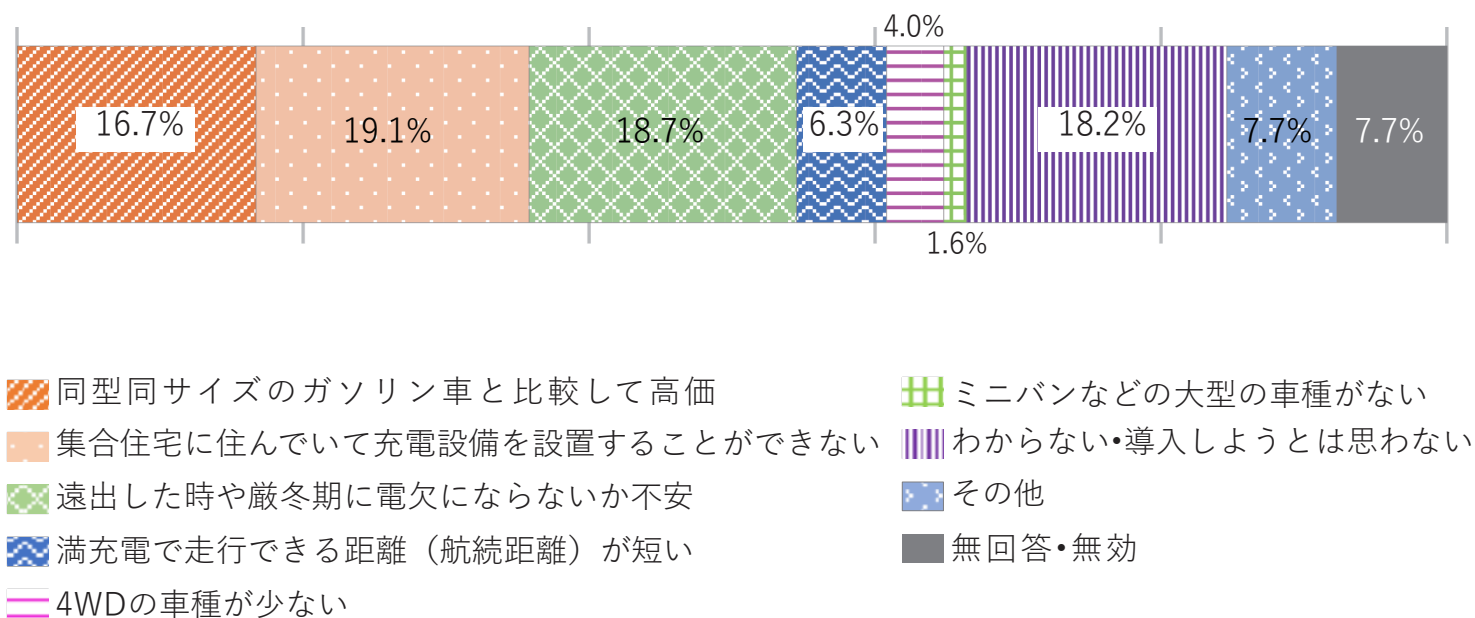


「再生可能エネルギー由来電力をより安価に利用できる方法（共同購入など）があると良い」と答えた方が68.8%と最も多い。

◆電気自動車を導入する場合の障壁

問 14

札幌市では、走行時に二酸化炭素を排出せず、また災害時に非常用電源となる電気自動車（EV）等の普及を進めるため、導入費を一部補助しています。あなたが EV を導入しようとした場合、障壁となると考えられるものは何ですか。最もあてはまるものに1つだけ○をつけてください。

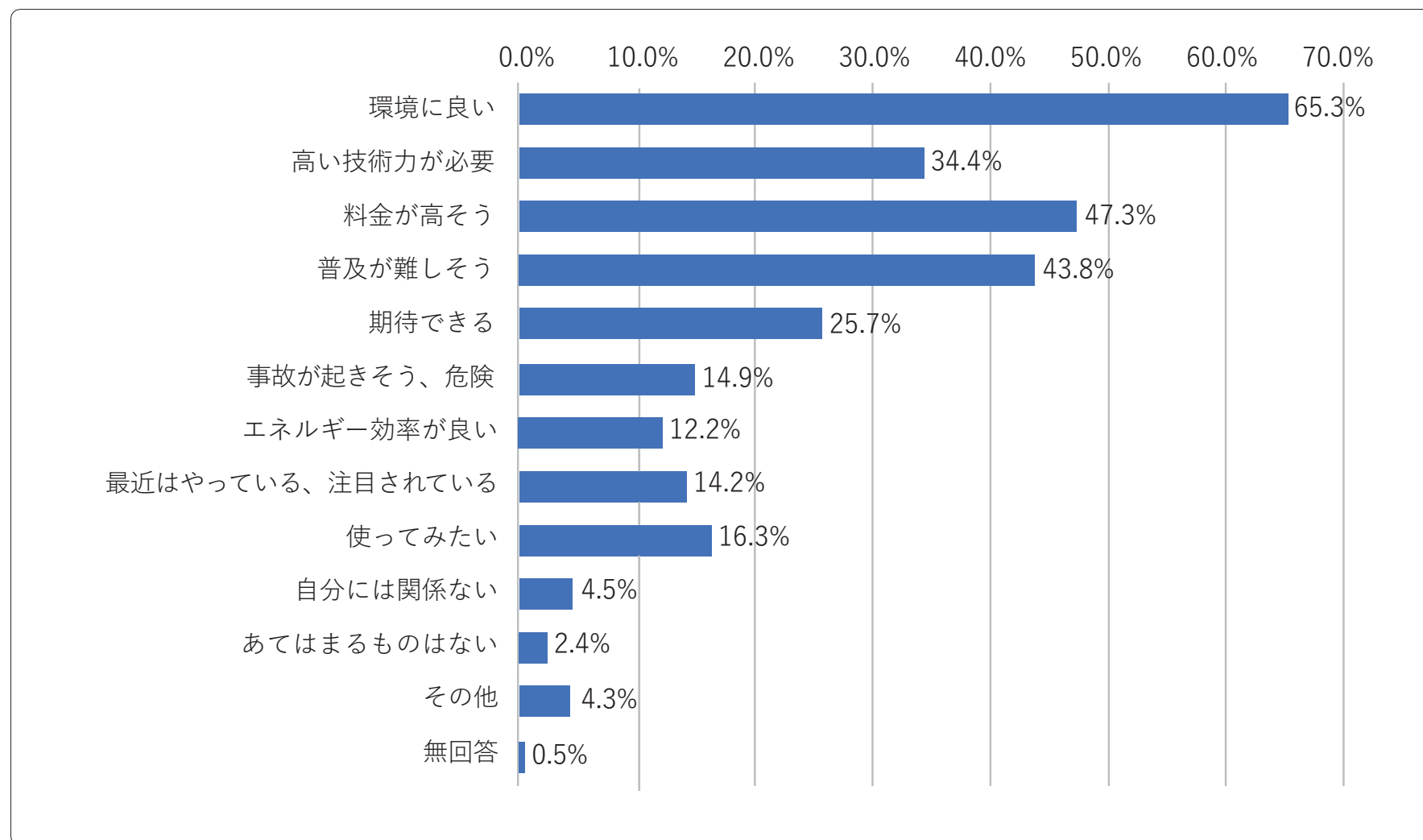


「集合住宅に住んでいて充電設備を設置することができない」と答えた方が 19.1% と最も多い。
次いで「遠出した時や厳冬期に電欠にならないか不安」が 18.7% となっている。

◆水素エネルギーに対するイメージ

問 15

あなたが抱く水素エネルギーのイメージについて、
あてはあるものすべてに○をつけてください。



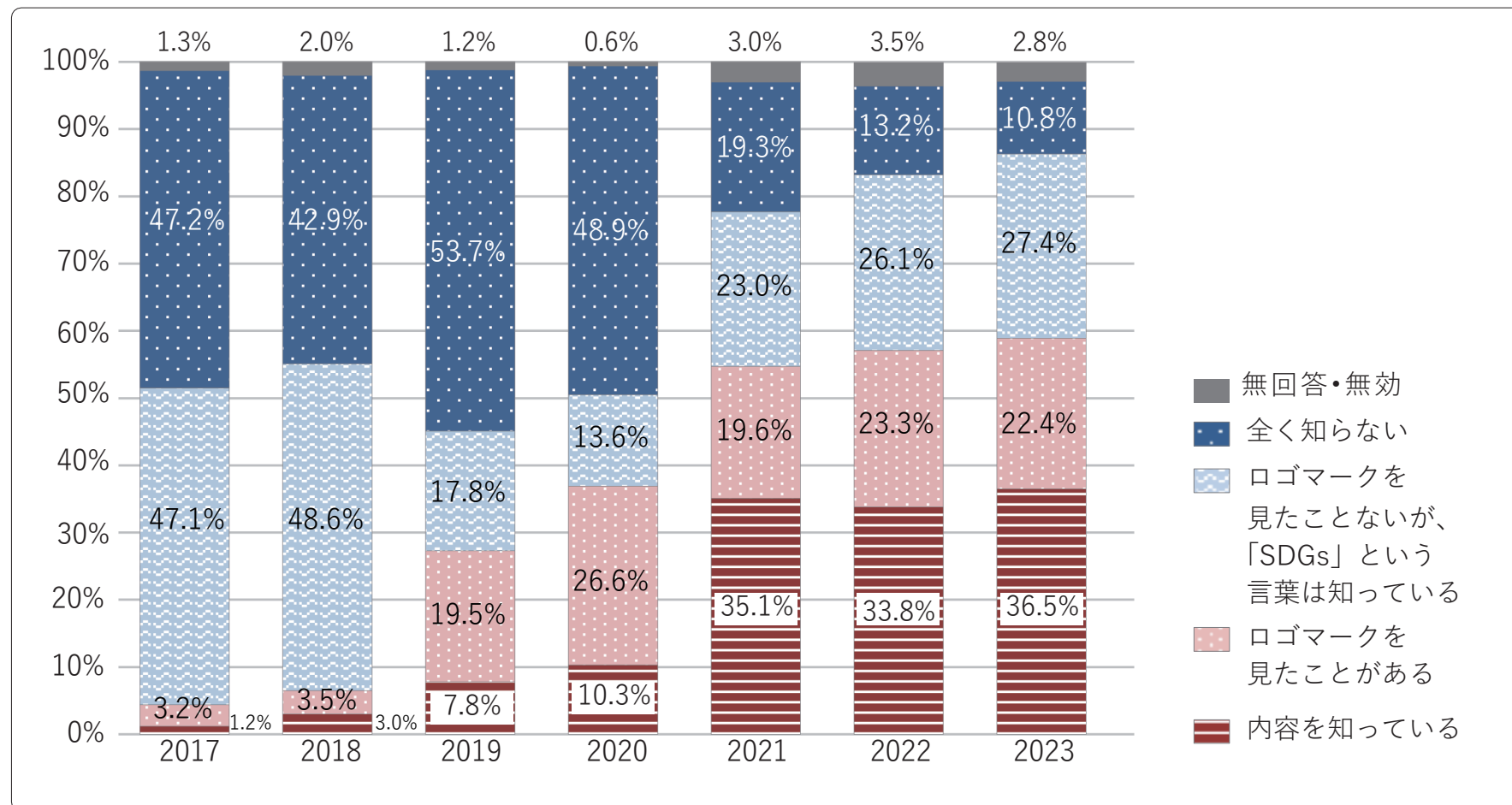
「環境に良い」と答えた方が 65.3%と最も多い。次いで「料金が高そう」が 47.3% となっている。

【テーマ3 環境政策全般やSDGsに関する認識について】

◆SDGsについての認知度

問 16

あなたは、持続可能な開発目標 (SDGs) について知っていましたか。
あてはまるものに1つだけ○をつけてください。



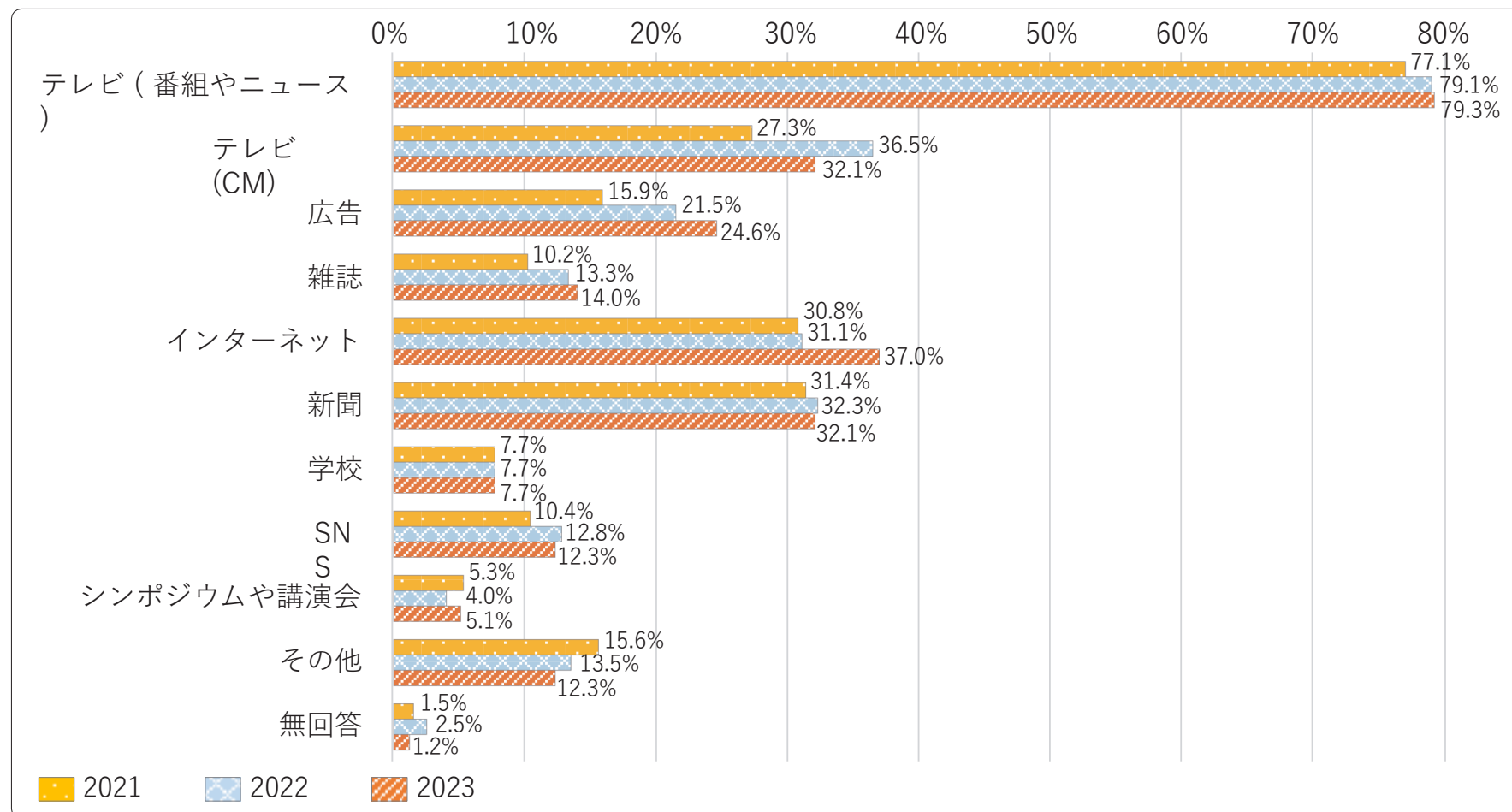
「具体的な内容を知っている」が 36.5%と前年調査から増加。「全く知らない」は 10.8%と、減少傾向となっている。

◆SDGs を知った手段

《問 16 で「1 内容を知っている」、「2 ロゴマークを見たことがある」、
「3 ロゴマークは知らないが『SDGs』という言葉は知っている」に○をつけた方にお聞きします》

問 17

あなたは、持続可能な開発目標 (SDGs) をどこで知りましたか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

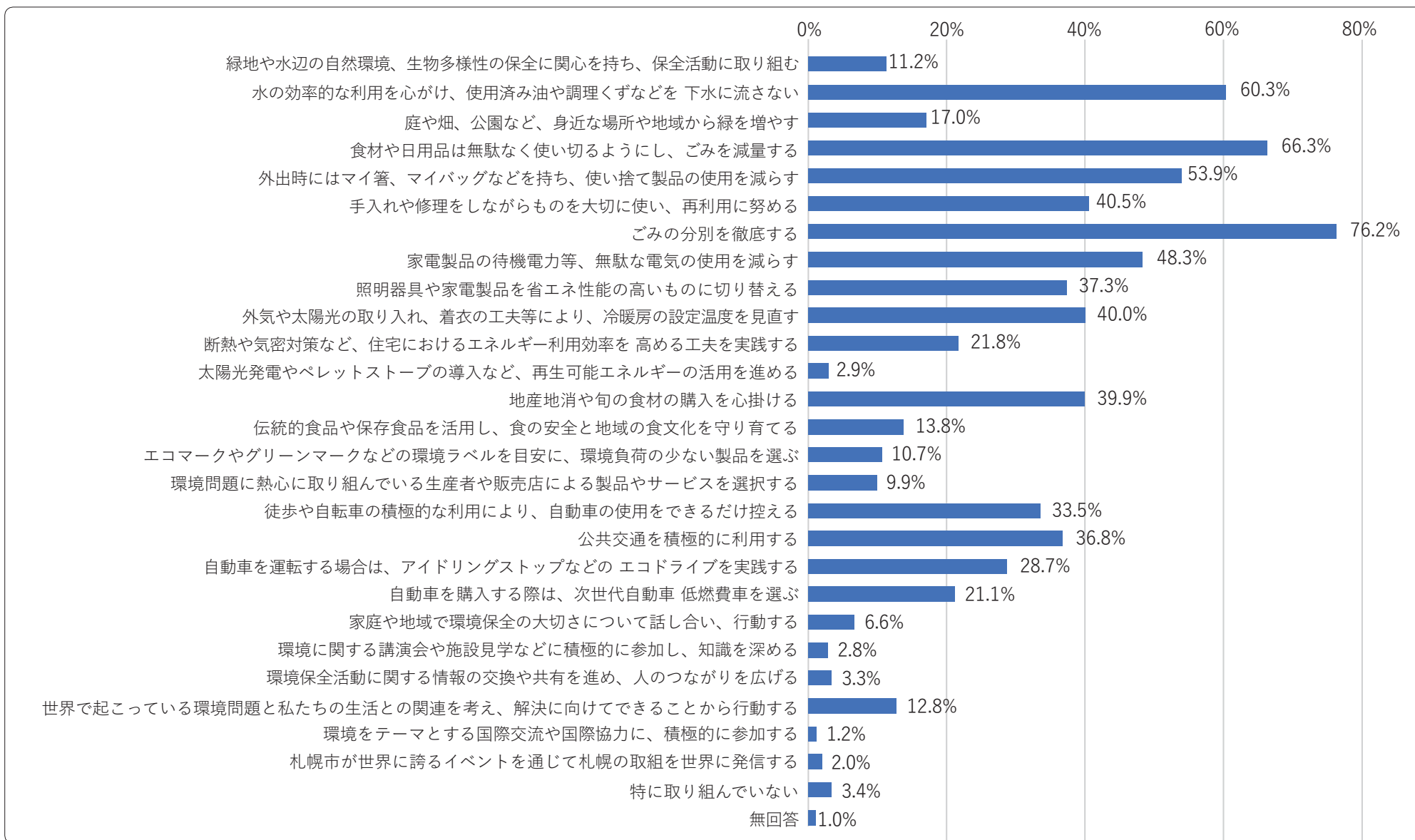


「テレビ (番組やニュース)」と答えた方が 79.3%と最も多い。
前年調査からの比較でみると、「広告」「インターネット」が増加している。

◆「持続可能な都市」の実現のために実践している取組

問 18

あなたは、「持続可能な都市」を実現するために、以下の取組の中で実践しているものはありますか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

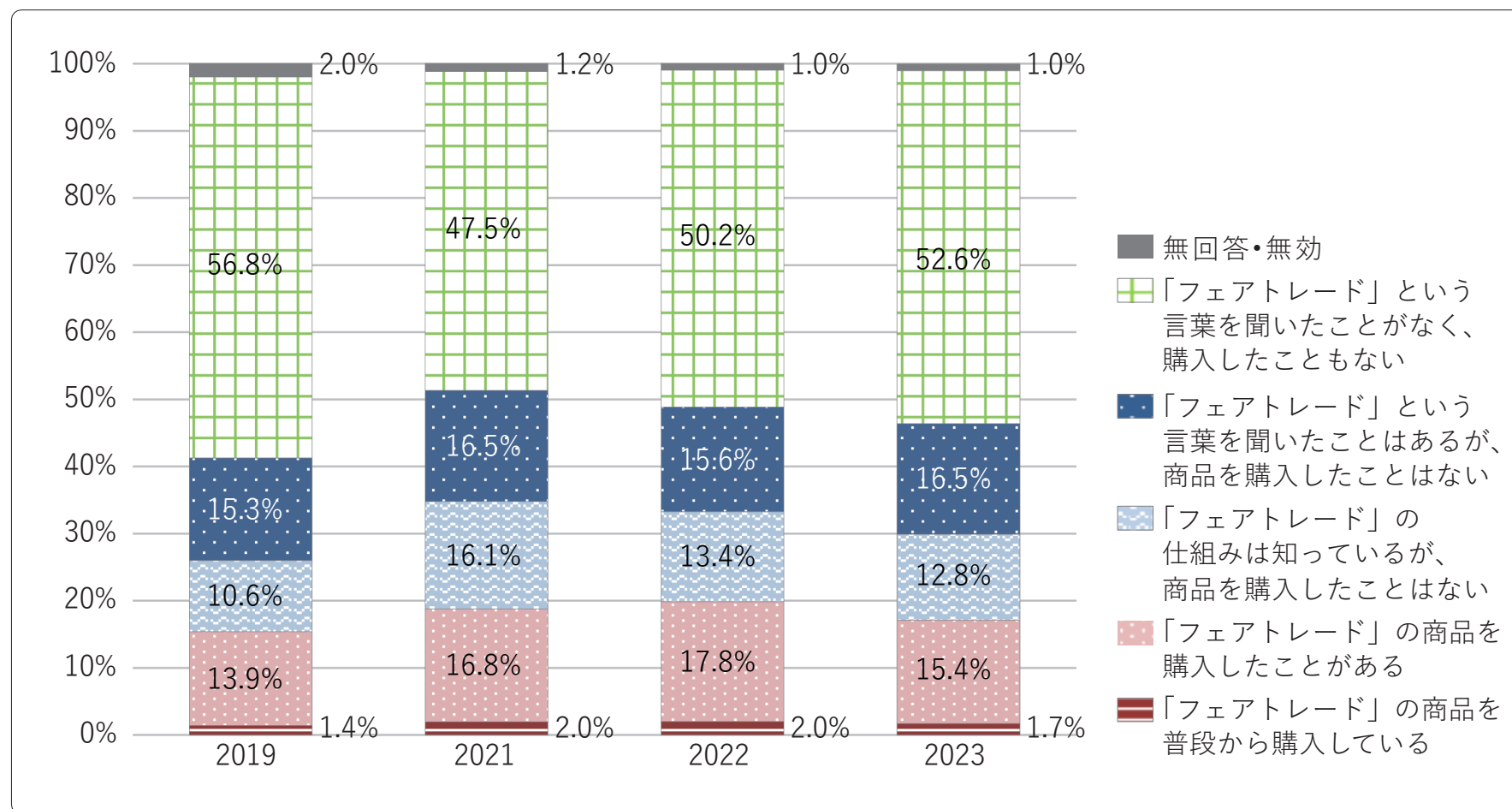


「ごみの分別を徹底する」が76.2%と最も多い。

◆「フェアトレード」商品の購入の有無

問 19

あなたは、「フェアトレード」の商品を購入したことがありますか。
あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

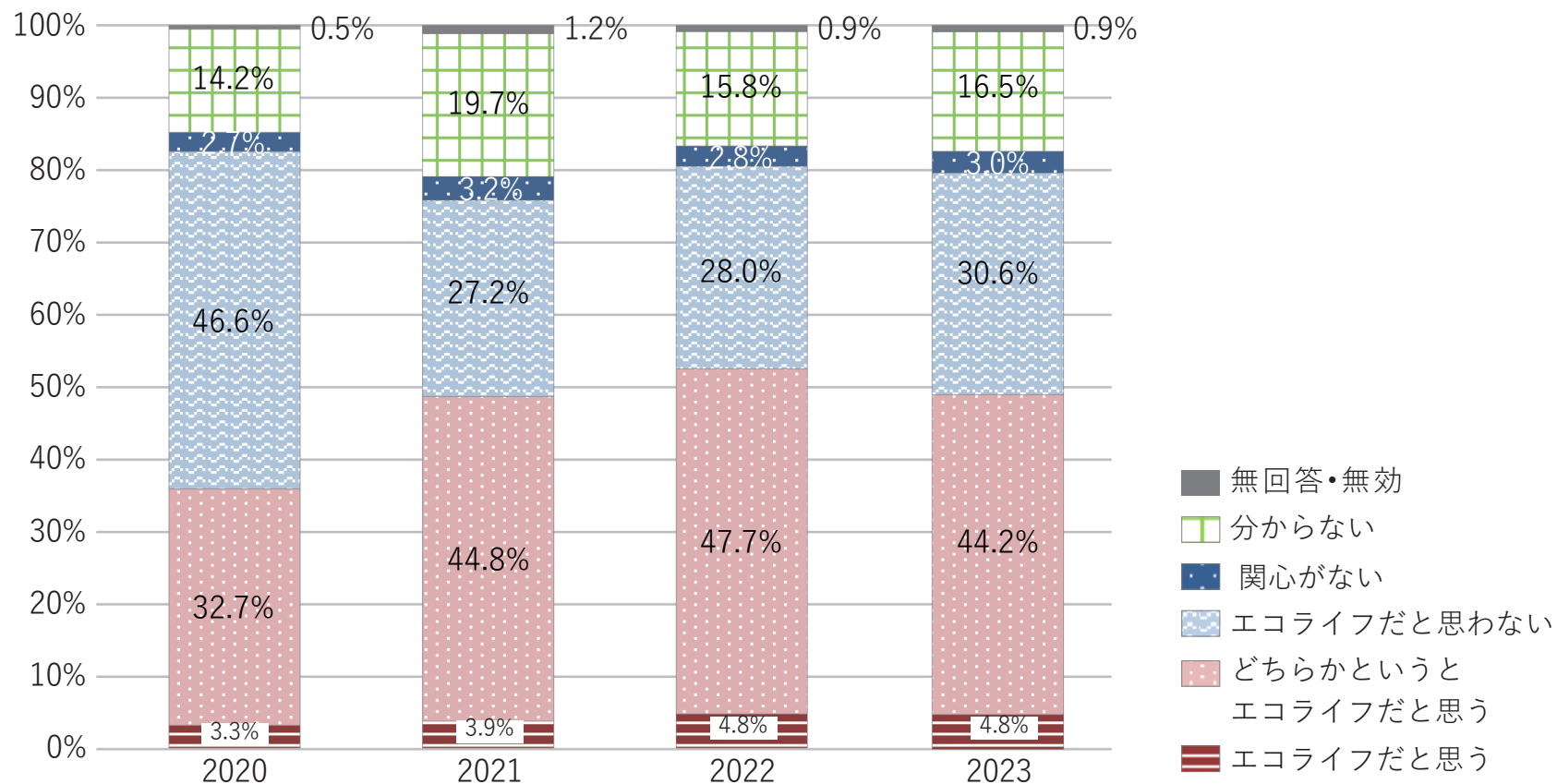


『フェアトレード』という言葉を知ったことがなく、購入したこともない」が 52.6%と最も多く、
前年調査に比べてわずかに増加。

◆自身の生活におけるエコライフの意識

問 20

あなたのご家庭での生活はエコライフ（環境にやさしい生活）だと思いますか。
あてはまるものに1つだけ○をつけてください。



「エコライフだと思う」「どちらかというエコライフだと思う」が
合わせて 49.0%と前年よりやや減少している。